

超音波小型メダル洗浄機

T・P・N-0013

秀磨 (しゅうま)

株式会社 テクノプラテン

取扱説明書



T.PΔEN

株式会社 テクノプラテン

本社工場 〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町3591

TEL 045-932-0490(代) FAX 045-932-0497

! 注意

- 本機を安全に正しく使用していただくために、使用前に必ず本書をお読みいただき、十分に理解してください。
- 本書をいつでも使用できるように、必ず所定を場所に保管してください。
- 記載内容は、製品改良のため予告なく変更することがあります。


はじめに (安全上の注意) 必ずお読みください

このたびは、弊社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。


本書では、設置・運営・保守・移動など、本機を安全にご使用いただくための方法を説明しています。本機を末永く、安全にご使用していただくために、設置・運営の前には必ず本書をお読みください。また、本書は本機の所有者・管理者・運営者の方を対象に作成しました。本機の設置・運営・保守・移動については、必ず本書を熟読・理解された方が行ってください。また本書は、日常の運営時など、必要な際によく閲覧できるよう、大切に保管してください。

本書の見方


本書では、使用者や他の方々への危機や、財産への損害を未然に防ぐため、注意を要する重要な部分に、絵 (シンボルなど) の表示を用いて記載しています。表示内容をご理解の上、本書をお読みください。

 この表示の内容を無視、または誤って取り扱いを行うと、使用者や作業員などが死亡または重傷を負う可能性が想定され、さらに危機発生時の警告の緊急性が高い限定的な場合を示します。

危険


 この表示の内容を無視、または誤って取り扱いを行うと、使用者や作業員などが死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。

警告


 この表示の内容を無視、または誤って取り扱いを行うと、使用者や作業員などが傷害 (軽傷) を負う可能性が想定される、または物的損害が発生する可能性が想定されることを示します。

注意

その他の表示例

 △記号は警告 (注意を含む) を促す内容があることを示しています。
△記号の中に具体的な警告 (注意を含む) の内容が表示されます。

 ○記号は禁止の行為を示しています。
○記号の中には、具体的な禁止されている内容が表示されます。

 ●記号は作業などにおいて行為を強制、または指示する内容を示しています。
●記号の中には、具体的な指示、強制事項の内容が表示されます。

安全上の注意

店舗メンテナンスマン、技術者 (サービスマン) の定義



本書記載の作業説明の中で「店舗メンテナンスマン」、「技術者」が作業するように指示がある作業や本書では説明していない作業は、知識や技術がない方は行わないでください。ケガや感電など重大事故の原因となります。

部品交換、保守点検、異常時の対処は、「店舗メンテナンスマン」または「技術者 (サービスマン)」が行ってください。本書では特に危険な作業は専門的な知識を有する技術者が行うように指示しています。本書では、店舗メンテナンスマンと技術者を以下のように定義します。

店舗メンテナンスマン アミューズメント機器 (以下AM機器) や自動販売機 (以下自販機) などのメンテナンスの経験を有し、本製品の所有者及び運営者の管理のもとに、AM施設内または店舗内で、日常的に機器の組立設置、保守点検、ユニットや消耗部品の交換などを通じて機器の保守管理に携わる人。

店舗メンテナンスマン AM機器や自販機などの組立設置、保守点検、ユニットや消耗部の行動内容品の交換。

技術者

AM機器製造メーカーで機器の設計・製造・検査メンテナンスサービスに携わる人。工業高等学校卒業と同等以上の電気・電子・機械工学に関する専門的知識を有し、日常的にAM機器の保守管理や修理に携わる人。

技術者の行動内容

AM機器や自販機などの組立設置、保守点検、ユニットや消耗部品の修理及び調整。

商品に関するお問い合わせ

〒224-0053
神奈川県横浜市都筑区池辺町 3591
株式会社テクノプラテン 本社工場
TEL 045-932-0490 FAX 045-932-0497

メンテナンスサービスについてのお問い合わせ

〒224-0053
神奈川県横浜市都筑区池辺町 3591
株式会社テクノプラテン 本社工場
TEL 045-932-0490 FAX 045-932-0497

安全上の注意

設置について



◎必ずアースの接続を行ってください！



本機は、アース端子を備えています。設置の際には、必ずアース線を接続してください。これを怠ると、火災や感電事故の原因となります。

◎設置の際、以下のことに注意してください！



本機は屋内専用です。屋外や、次の場所には絶対に設置しないでください。故障や思わぬ事故の原因となります。

- 雨漏りのする場所
- 直射日光の当たる場所
- 湿気の多い場所
- 危険物の近く
- 空調機器の近く等の温度差の激しい場所
- 斜面および不安定な床面
- ほこりの多い場所
- 消防設備の近く
- 振動の激しい場所



本機の上や周辺には、次のようなものを置かないでください。機械の破壊、火災や感電事故など、思わぬ事故の原因となります。

- 花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器
- その他、重量物



本機を設置の際は、必ずアジャスターを調整して水平を確認してください。アジャスターを調整しない場合は、本機が移動したり転倒して、ケガや思わぬ事故の原因となります。



タコ足配線はしないでください。本機の故障や火災・感電事故の原因となります。

◎表示以外の電源で使用しないでください！



表示された電源電圧以外の電源で使用しないでください。火災や感電事故、漏電の原因となります。

◎電源コード取り扱い上の注意



次のような取扱をしないでください。コードが破損し、火災や感電事故の原因となります。

- 電源コードを引っ張ったり、無理に曲げたり、加工する。
- 電源コードを傷つけたり、加熱する。
- 電源コードをはさみ込んだり、束ねる。
- 電源コードが、本機または重いもの下敷きになる。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電事故の原因となります。



電源プラグは、金属部分が見えなくなるまで確実にコンセントに差し込んでください。接続が不完全な場合、ほこりなどが付着して火災や感電事故の原因となります。



電源コードは、人が踏んだり蹴ったりするような通路には出さないでください。電源コードにひっかかって転倒し、ケガや思わぬ事故の原因となります。

安全上の注意

移動・運搬について



本機を移動する前に、電源プラグをコンセントから抜き、洗浄液やすすぎ槽の水を抜いてください。これを怠ると、故障や思わぬ事故の原因となります。



本機を移動する際に、電源コードを傷つけないでください。故障や思わぬ事故の原因となります。



本機を移動した後は、設置状況を確認してください。これを怠ると、ケガや思わぬ事故原因となります。



段差がある場所では、底部を支持して移動するようにしてください。これを怠ると、本機が転倒し、ケガや思わぬ事故の原因となります。



本機を移動する際には、必ず全てのアジャスターを一番上まで上げてください。これを怠ると、本機が転倒し、ケガや思わぬ事故の原因となります。



本機を移動する際には、2人以上の人員を揃えて作業してください。これを怠ると、本機が転倒し、ケガや思わぬ事故の原因となります。

運営について



◎設置条件を確認してください！

- 本書記載の設置条件を満たしていることを確認の上、運営を開始してください。
- 本機は、無人で運営できる機械ではありません。係員の目の届く範囲にて、運営してください。

- 本機は日本国内でのみ使用ください。海外で使用すると、故障や思わぬ事故の原因となります。

◎表示以外の電源で使用しないでください！

- 表示された電源電圧以外の電源で使用しないでください。火災や感電事故、故障の原因となります。

◎スタートスイッチを「OFF」にしてから作業を行ってください！

- 機械内部の作業を行う際には、必ずスタートスイッチを「OFF」にしてから行ってください。これを怠ると、感電事故や思わぬ事故の原因となります。スタートスイッチ「ON」にして作業を行う場合には、本書の手順に従ってください。

◎警告ラベルが十分読めるようにしてください！

- 機械に貼付されている警告ラベルは、十分読めるように、照明、汚れなどに注意してください。また、他のゲーム機械などによって隠れないようにしてください。

- 警告ラベルが著しく汚れたり破損した場合は、新しい警告ラベルと貼り替えてください。(交換用ラベルについては、弊社サービスセンターにお問い合わせください)

◎メダル以外の異物を入れないでください！

- 本機のメダル投入口や隙間などから、メダル以外の異物を入れないでください。故障や思わぬ事故の原因となります。

- 万一、異物が入った場合には、すぐにスタートスイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 定期的に内部を点検し、異物を取り除いてください。これを怠ると、火災や感電事故の原因となります。

運営について



◎電源コードの取り扱い上の注意

次のような扱いをしないでください。コードが損傷し、火災や感電事故の原因となります。

- 電源コードを引っ張ったり、無理に曲げたり、加工する。
- 電源コードを傷つけたり、加熱する。
- 電源コードをはさみ込んだり、束ねる。
- 電源コードが、本機または重いもの下敷きになる。

- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、購入先または弊社に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災や感電事故、漏電の原因となります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電事故の原因となります。

- 電源プラグは、金属部分が見えなくなるまで確実にコンセントに差し込んでください。接続が不完全な場合、ほこりなどが付着して火災や感電事故の原因となります。

- 電源コードは、人が踏んだり蹴ったりするような通路には出さないでください。電源コードにひっかかって転倒し、ケガや思わぬ事故の原因となります。

◎万一、異常が発生したとき

万一、次のような異常が発生したら、すぐにスタートスイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 煙や異臭、異音の発生
- 本機内部から洗浄液やすすぎ槽の水が漏れた場合

- 上記のような場合には、本機の所有者、管理者、または運営者による修理は行わないでください。必ず修理をご依頼ください。

◎機械が故障、または破損したとき

- 故障、破損については、弊社本社工場に修理をご依頼ください。

- 弊社にて部品・修理方法で修理を完了するまでは、絶対に運営を開始しないでください。また、故障品を一般のお客様が触れないようにしてください。

◎絶対に分解、改造はしないでください！

- 本紙にて指示した以外の箇所を分解したり、または本機の改造はしないでください。火災や感電事故の原因となります。

安全上の注意

運営について



◎弊社指定の部品・洗浄液をご使用ください！



本機に使用する部品や洗浄液は、弊社指定以外のものを使用しないでください。故障や思わぬ事故の原因となります。

◎本書を機械に添付してください！



本機を移設する場合には、必ず本書を添付してください。メンテナンス方法や設置方法が不明瞭となり、故障や思わぬ事故の原因となります。

◎係員様へのご注意



係員様のケガや思わぬ事故を防ぐために、次のことをお客様に注意してください。

- 本機のメダル投入口に、メダル以外の異物や指を入れないでください。
- 本機のメダル投入口や筐体のすき間などに、異物を入れないでください。
- 本機によりかかったり、上に登ったりしないでください。
- 本機を叩いたり蹴ったりしないでください。

メンテナンスについて



本機を移動したときは、設置状態を確認してください。これを怠ると、ケガや思わぬ事故の原因となります。



本機に使用する部品は、弊社指定以外のものを使用しないでください。故障や思わぬ事故の原因となります。



メンテナンス作業の際は、次のことを行ってください。これを怠ると、感電事故の原因となります。

- スタートスイッチを「OFF」にする
- 電源プラグをコンセントから抜く
- メンテナンスの知識・経験のある方（店舗メンテナンスマン、または技術者）が行う



本紙にて指示した以外の箇所を分解したり、改造、変造はしないでください。火災や感電事故の原因となります。



定期的に内部を点検し、異物を取り除いてください。これを怠ると、火災や感電事故の原因となります。

危険・警告・注意ラベルの貼付位置

警告ラベルについて

弊社製品には、危険が想定される箇所にラベルの貼付、取付もしくは印刷などで危険性の警告表示を行っています。これはお客様の事故防止のため、また、メンテナンス作業に関わる危険を避けるための警告表示です。本機内には、超音波振動子やドラムなど、触れるだけで事故が発生する箇所があります。サービス作業を行うときは警告表示に注意してください。特に本書に掲載していない修理や交換作業は、お止めください。警告に反する行為を行う方には、事故防止のために行為を停止するようにご注意ください。また、これらのラベルが剥がされたり、破損等の理由で読解が困難と思われる場合には、必ず交換ラベルを弊社本社工場宛にお問い合わせいただき、貼付してください。

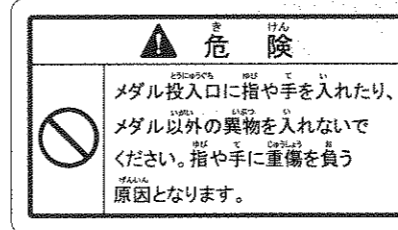


◎警告ラベルが十分読めるようにしてください！

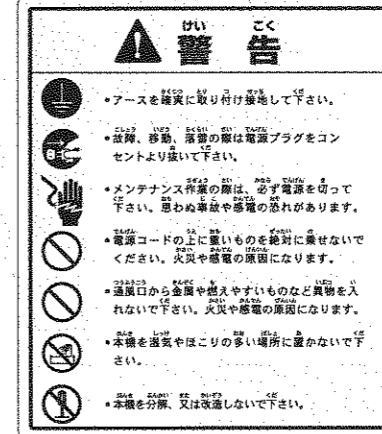
本機に貼付している警告ラベルは、十分読めるように、照明、汚れなどに注意してください。また、他のゲーム機械などによって隠れないようにしてください。これを怠ると、事故の原因となります。

- 注意ラベル、警告ラベルが著しく汚れたり破損した場合は、新しいラベルと貼り替えてください。
 - 交換用ラベルにつきましては、部品名を確認の上、弊社本社工場へお問い合わせください。
- なお、原則として交換ラベル費用を申し受けます

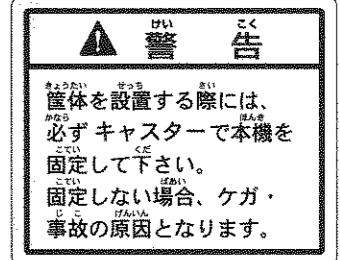
①危険ラベルA



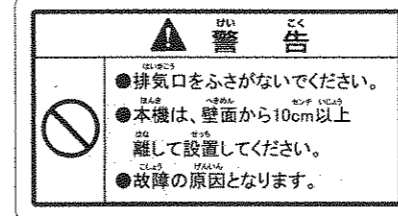
②警告ラベルA



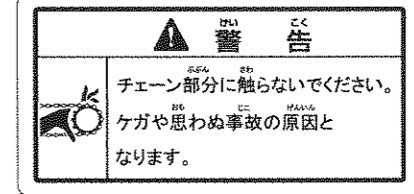
③警告ラベルB



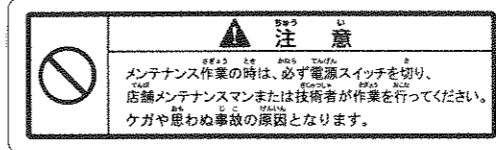
④警告ラベルC



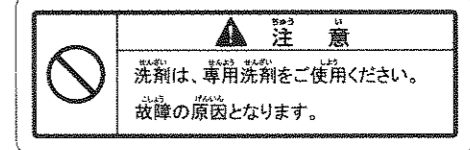
⑤警告ラベルD



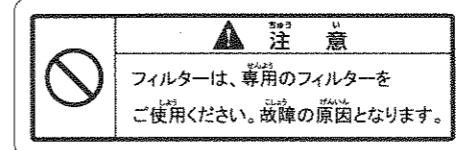
⑥注意ラベルA



⑦注意ラベルB



⑧注意ラベルC

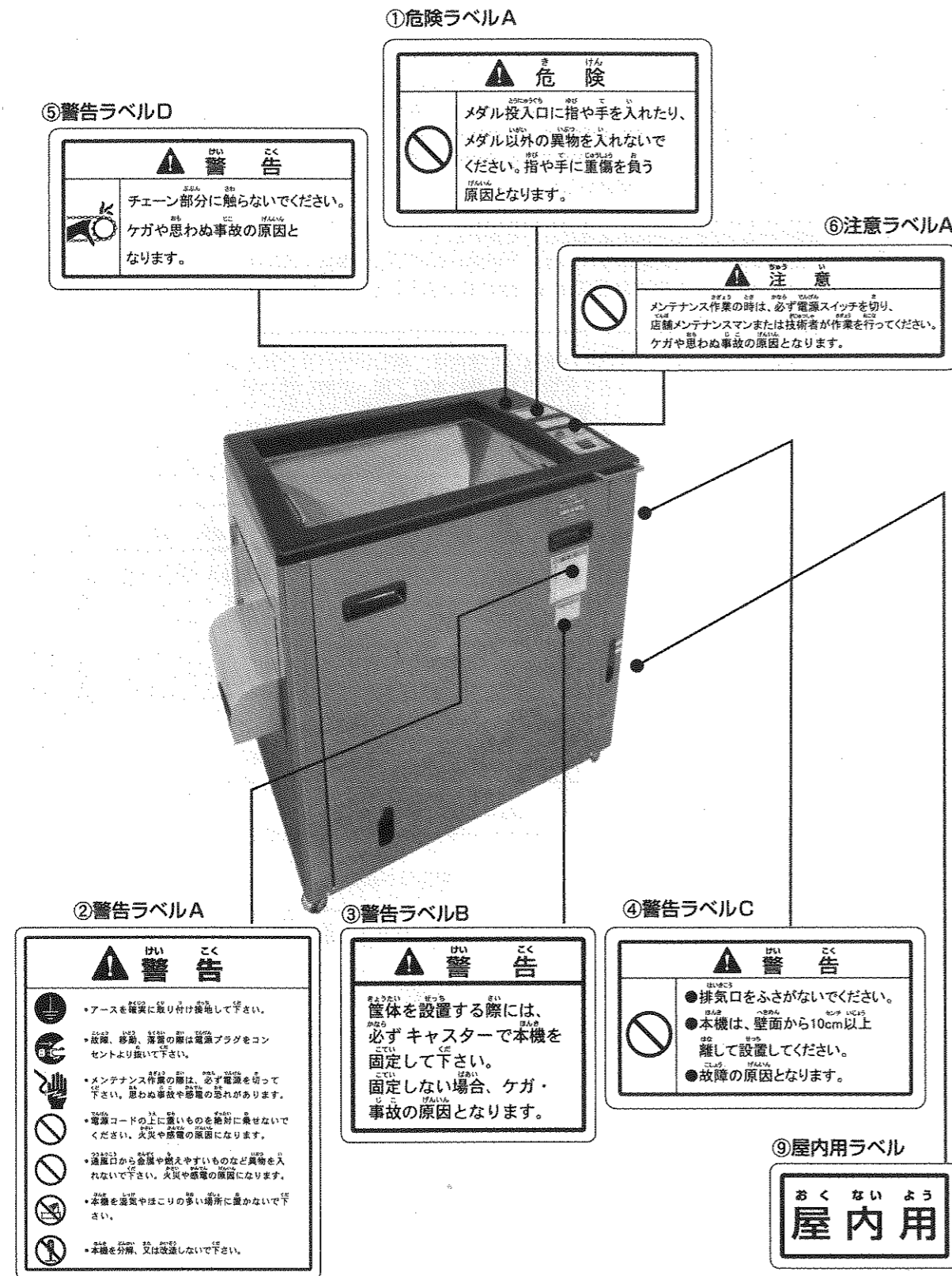


⑨屋内用ラベル



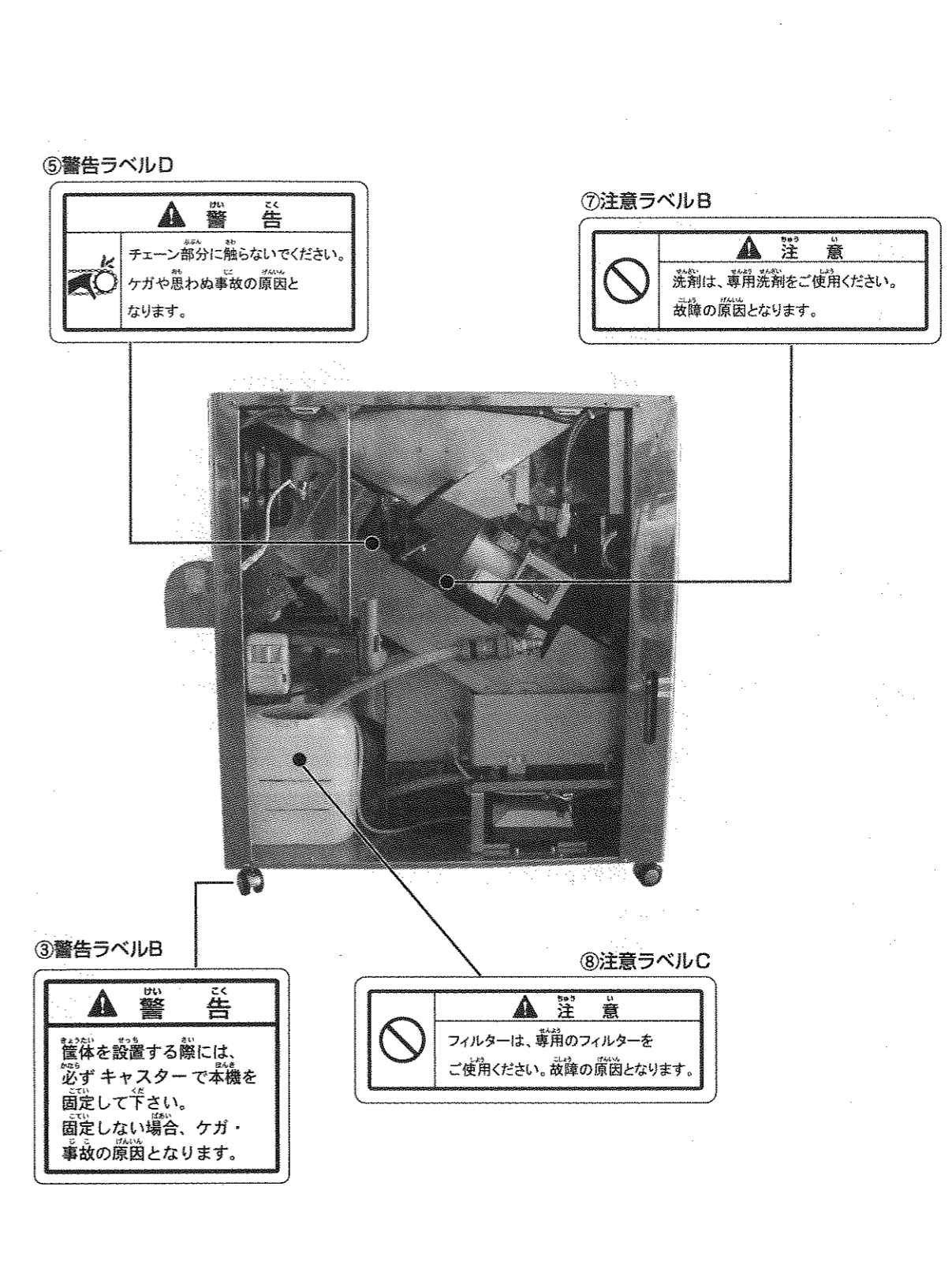
危険・警告・注意ラベルの貼付位置

添付位置（外観）



危険・警告・注意ラベルの貼付位置

添付位置（内部）



もくじ

はじめに (安全上の注意)	1
危険・警告・注意ラベルの貼付位置	8
1. 主な使用	12
2. 付属品の確認と設置	13
2-1. 付属品の確認	13
2-2. 各部の名称	14
2-3. 設置	15
3. 使用方法	16
3-1. 電源の接続	16
3-2. 洗浄槽の給水	17
3-3. 洗浄液の注入	18
3-4. すすぎ槽の給水	19
3-5. メダル洗浄	20
4. 点検・運営	21
4-1. 仕業点検 (日常点検)	21
5. メンテナンス	22
5-1. 洗浄槽の水補給	22
5-2. 洗浄槽の水交換	23
5-3. すすぎ槽の水交換	24
5-4. すすぎ槽フィルター交換	25
5-5. シャワーポンプの洗浄	26
5-6. 脱水ローラユニットの洗浄	27・28・29
5-7. 洗浄槽の洗浄	30
5-8. すすぎ槽の洗浄	30
5-9. 排出コンベア部 放水パイプの洗浄	31
5-10. モーター反転スイッチ	32
6. 分解・組み立て	33
6-1. 部品と手順	33
6-2. メダルシュートとメダル排出シュートの分解	34
6-3. 脱水ローラの分解	34
6-4. メダル排出板の分解	35
6-5. メダル排出コンベアの分解	35
6-6. 排出パイプガイドの分解	36
6-7. 洗浄ドラムコイン受け・超音波反射板の分解	36
6-8. 洗浄ドラムの分解	37
6-9. すすぎ槽ポリタンクの分解	37
7. 保守	38
7-1. 修理のご案内	38
7-2. 機械・部品修理依頼表	39
8. 配線図	40

1 主な仕様

1・1 仕様内容

重要		弊社指定の部品・洗浄液をご使用ください。
名称		超音波小型メダル洗浄機 秀磨 (しゅうま)
寸法 (mm)		全幅703×奥行413×全高830 (キャストを含む)
重量		約80kg
対応メダル寸法		5φ~25φサイズ (直径21.3mm~24.2mm、厚み1.6mm~2.0mm) ※ 他サイズの場合は、弊社にご相談ください
洗浄能力		20,000~25,000枚/時間 (5φサイズ)
洗浄方法		超音波洗浄、ドラム洗浄、洗剤洗浄を併用
乾燥方法		特殊ローラー
ホッパー容量		12,000枚 (5φサイズ)
洗浄温度		約45℃
洗浄液の使用量		1%
洗浄槽容量		12リットル
すすぎ槽容量		6リットル
電源	①通常使用時	AC 100V (±10%)、50/60Hz
	②消費電力	1000W (50/60Hz、起動時) 300~1000W (定常運転時)
	③過電流保護	あり
	④過電圧保護	なし
使用場所	①使用環境	気温: 5~45℃ 湿度30~80% (RH) 但し結露のないこと。
	②保存環境	気温: 5~45℃ 湿度30~80% (RH) 但し結露がなく、本機内にメダル・水分・洗浄液が残留していないこと。

※ 仕様は、改良のため、予告無く変更する場合がありますのでご了承ください。

2 付属品の確認と設置

2.1 付属品の確認

本機の付属品には次のものが同梱されています。数量に不足がないか、破損をしていないかを確認してください。

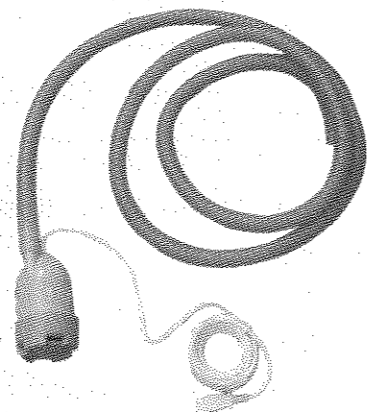
番号	名称	数量	備考
①	取扱説明書 (本書)	1	
②	給排水ポンプ	1	
③	漏斗 (ろうと)	1	プラスチック製
④	給排水用ポリタンク	1	プラスチック製
⑤	計量カップ	1	プラスチック製
⑥	専用メダル洗浄液	1	商品名「MAXリキッド」
⑦	清掃用ブラシ	1	
⑧	排出パン	1	
⑨	透明ホース	1	
⑩	ステンレス棒	1	
⑪	フィルター	1	

本機または付属品に破損がある場合には、お手数ですが弊社本社工場までご連絡ください。

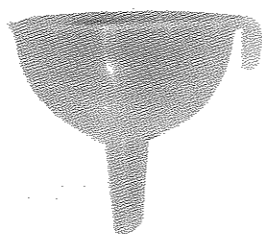
①取扱説明書 (本書)



②給排水ポンプ



③ろうと



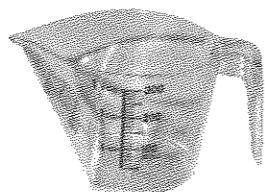
④給排水用ポリタンク



⑥専用メダル洗浄液



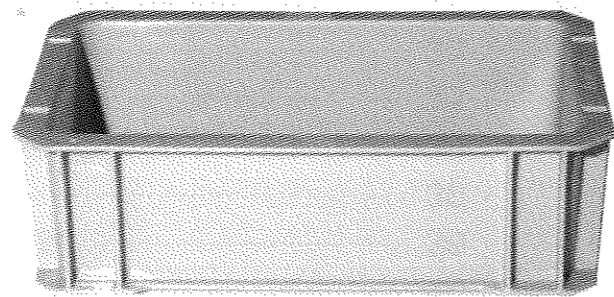
⑤計量カップ



⑦清掃用ブラシ



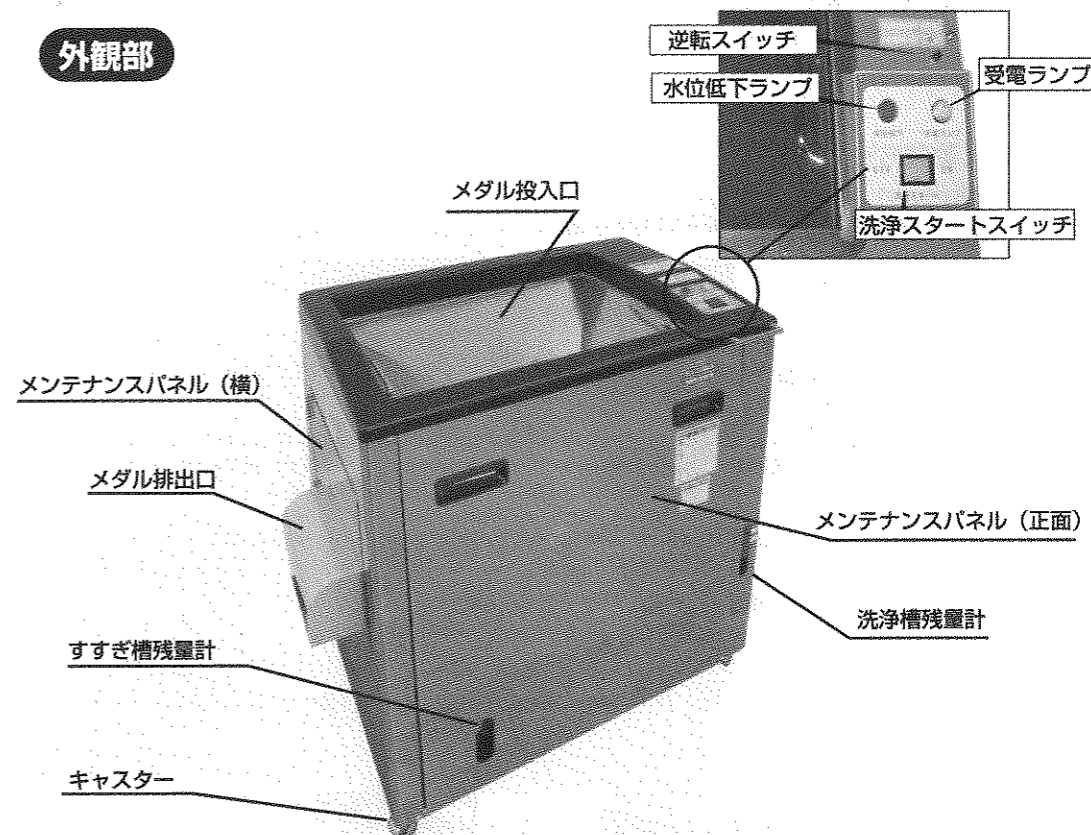
⑧排出パン



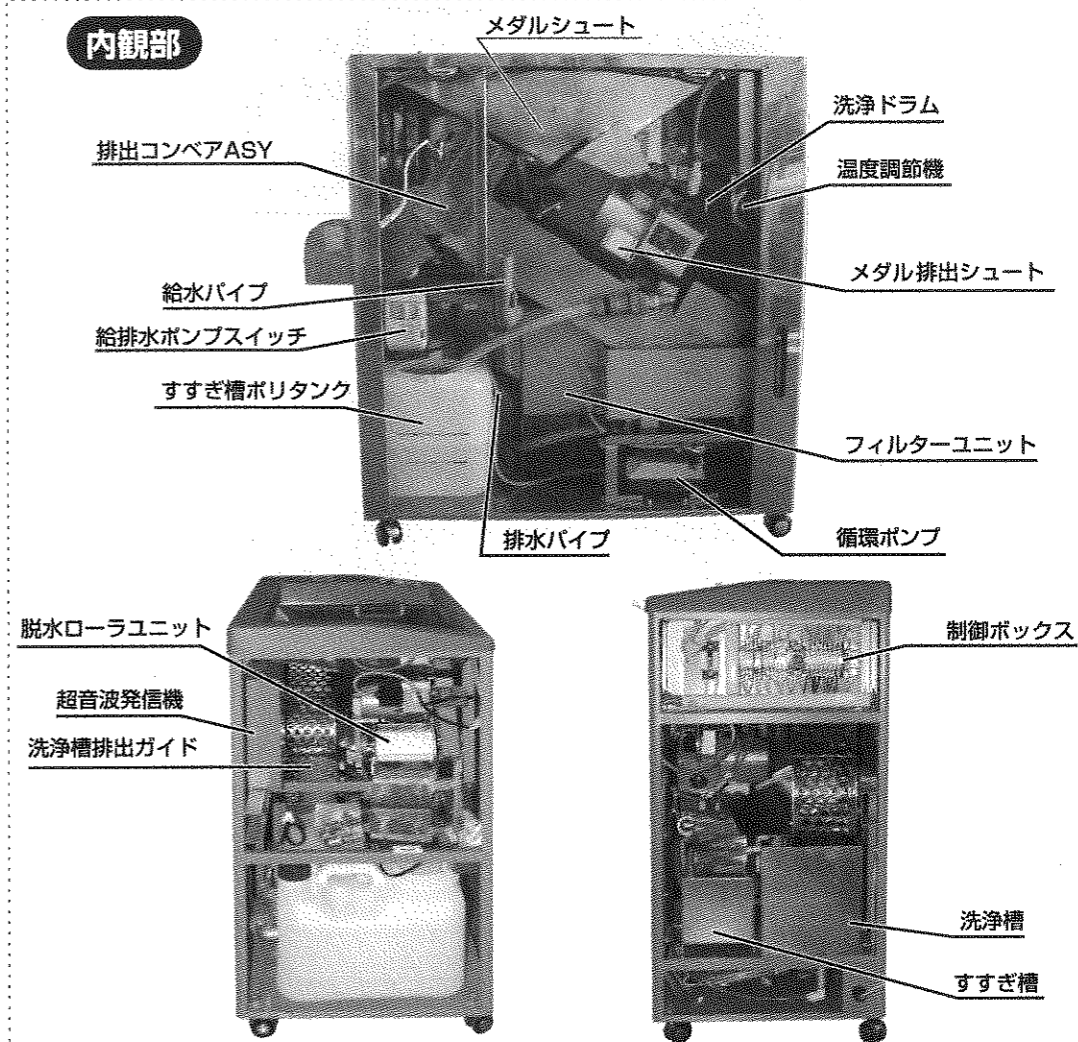
2 付属品の確認と設置

2.2 各部の名称

外観部



内観部



2 付属品の確認と設置

2
・
3
設置

(1) 設置に必要なスペース

- 本機は、壁面から10cm以上離して設置してください。
- 壁面や他のゲーム機などで、排気口（排気ファン）を塞がないでください。

(2) 設置方法

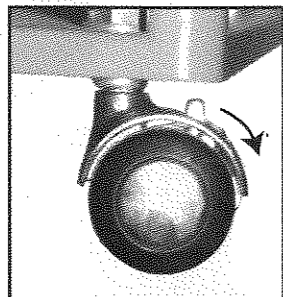


●設置場所は必ず水平な場所を選んでください。ケガや事故の原因となります。

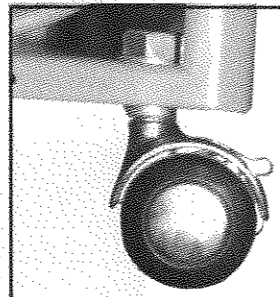


●本機を設置する際は、2人以上の人員で行ってください。ケガや思わぬ事故の原因となります。
●本機を設置する際は、一般のお客様を設置現場に入らせたり、工具類や部品類を一般のお客様に触れさせないようにしてください。ケガや思わぬ事故の原因となります。

- ①「2.3設置 (1)設置に必要なスペース」に適合したスペースを確保します。
- ②本機の梱包を解き、本機を仮置きします。
- ③本機の前面下部についているキャスター2箇所のレバーを写真①から写真②の位置まで下げて、本機を固定させてください。この際、床と水平になっていることを確認してください。



①



②

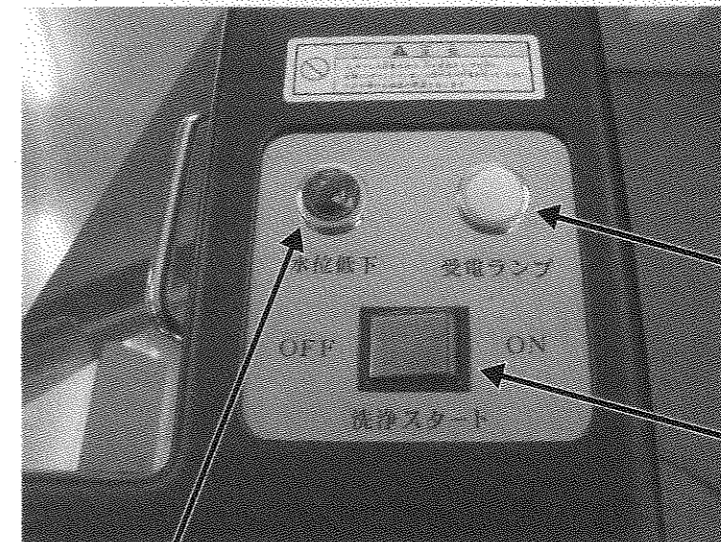
3 使用方法

3
・
1
電源の接続

- ①電源コードをコンセントに差し込みます
電源を入れたら受電ランプ点灯します

重要

- ・スタートスイッチ、今は入れません
スタートスイッチは (3・5のメダル洗浄) のときONにします



水位低下ランプ

受電ランプ

スタートスイッチは
OFFのままです

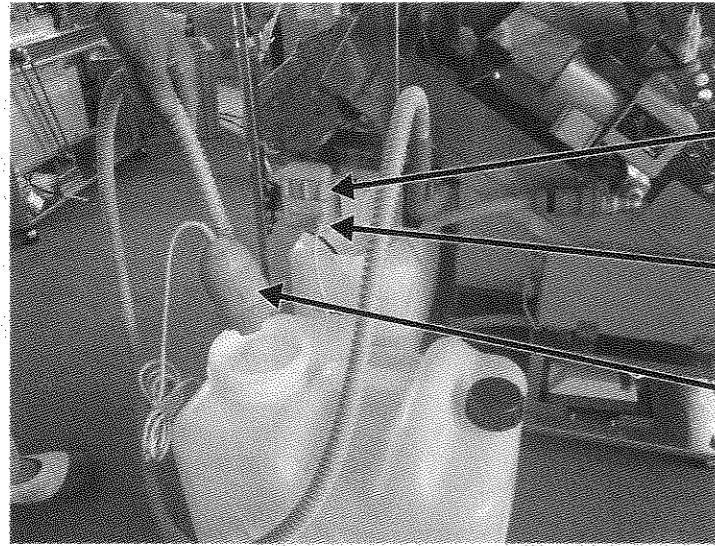
要注意

洗浄槽に水を入れずにスタートスイッチONにすると超音波が破壊する恐れがあります。

3 使用方法

3・2 洗浄槽の給水

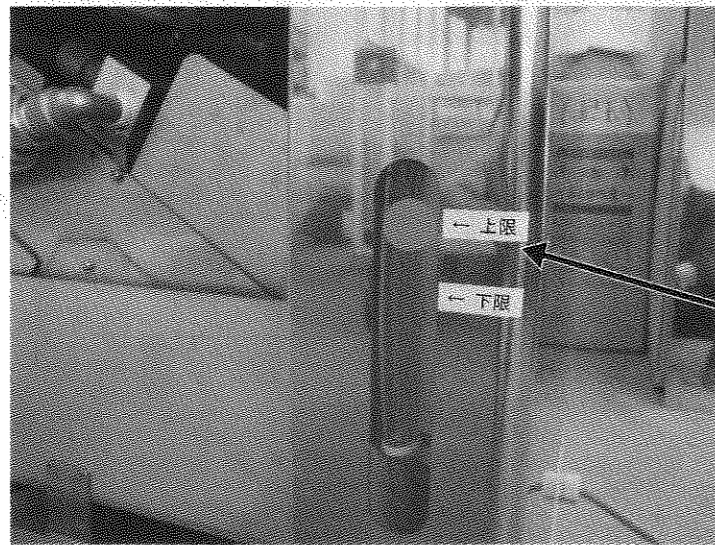
- ① 大きい給排水用ポリタンク (20リットル) に水を満タンに入れます
- ② 給排水ポンプで洗浄層の給水を行います



スイッチONで給水です
スイッチOFFでストップ
です

電源を差し込みます

給排水ポンプ



重要
洗浄層の残量計の上限
まで入れてください
(使用中蒸発する為です)

浮き玉が上限まできたら
給排水ポンプのスイッチ
OFFにします

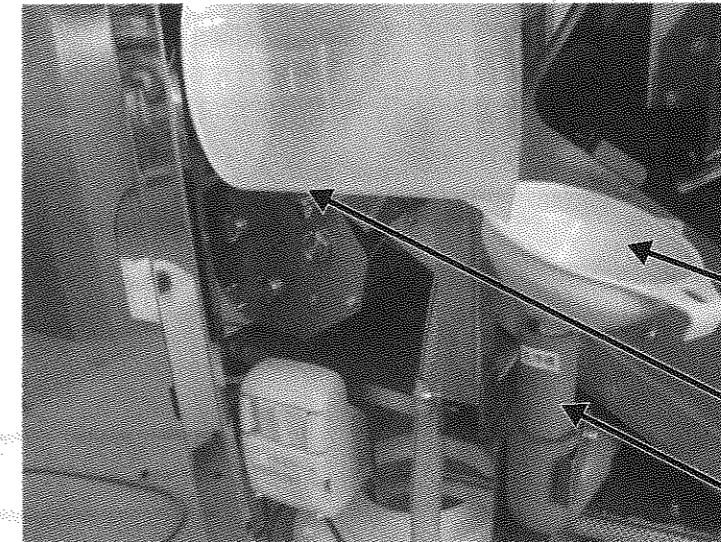
要注意

- ・ 上記浮き玉が無くなっている場合がありますので、その場合は水位をよく見てください
- ・ この透明のホースは、洗浄層のドレンホースも兼ねています

3 使用方法

3・3 洗浄液の注入

- ① メダル洗浄液 (MAXリキッド) を計量カップで約50CC入れます

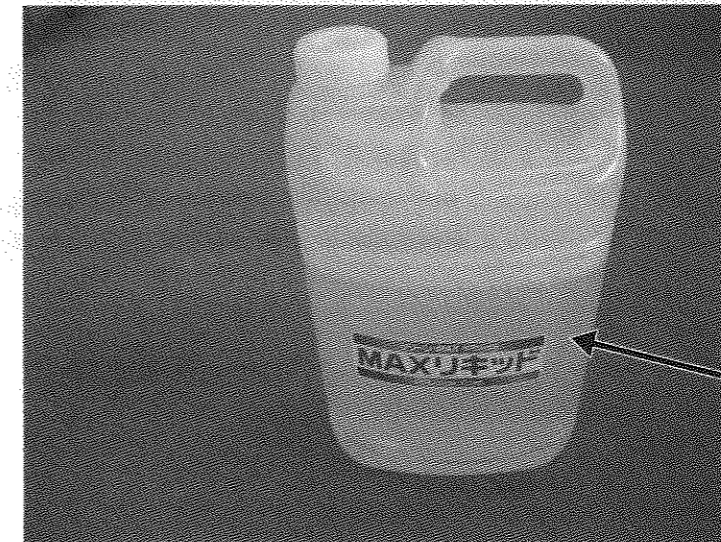


重要
ロートを使用してください

ロート

約50CC入れてください

洗浄槽注入口



メダル洗浄液
(MAXリキッド)

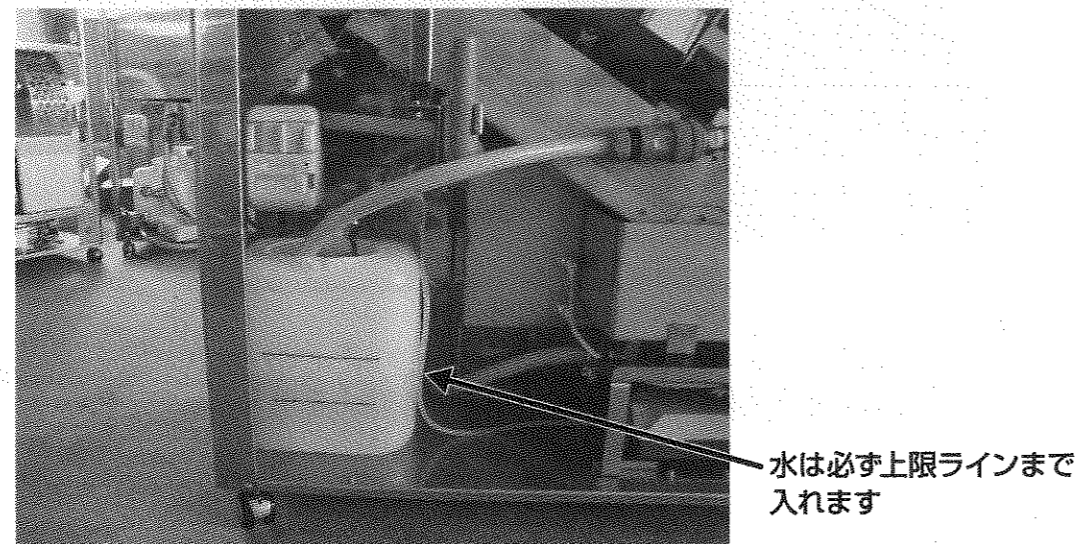
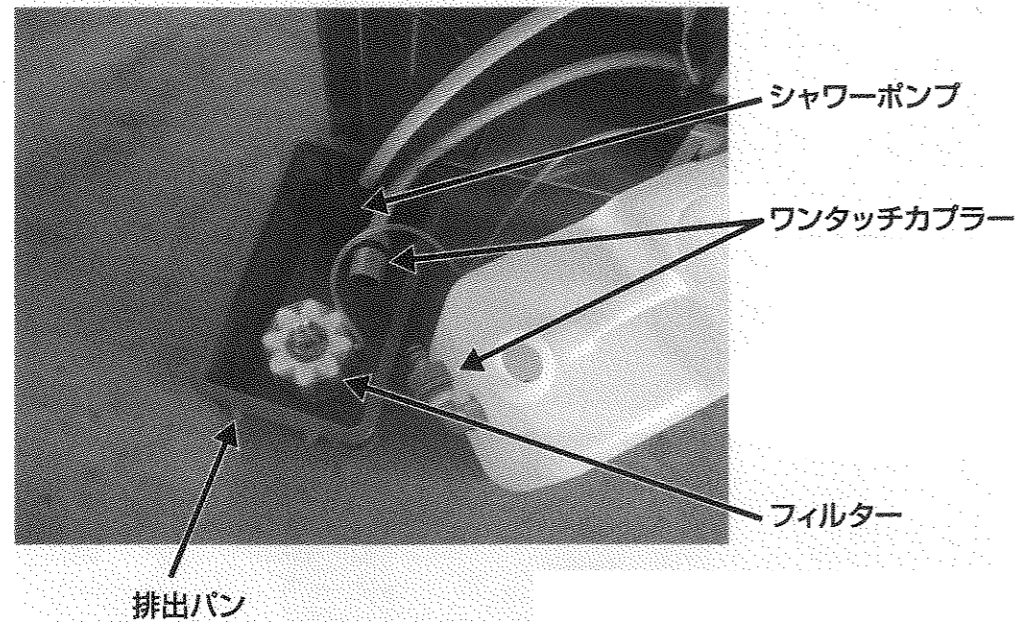
重要

- ・ 当社専用の洗浄液 (MAXリキッド) を必ず使用してください。
- ・ 他社の洗浄液を使用し故障した場合は保証いたしません。

3 使用方法

3・4 すすぎ槽の給水

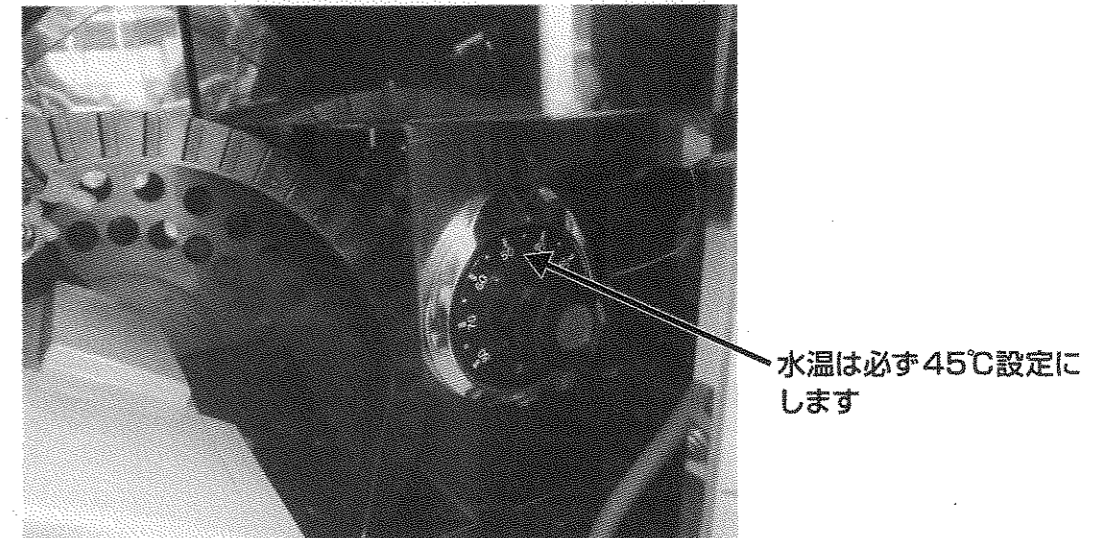
- ①すすぎ槽ポリタンクを本体から引っ張り出します
- ②シャワーポンプとワンタッチカプラーを外します
- ③フィルターをすすぎ槽ポリタンクから取り出します
- ④上記を排出パンに入れます
- ⑤すすぎ槽ポリタンクの上限ラインまで水を入れて下さい(蒸発するためです)



3 使用方法

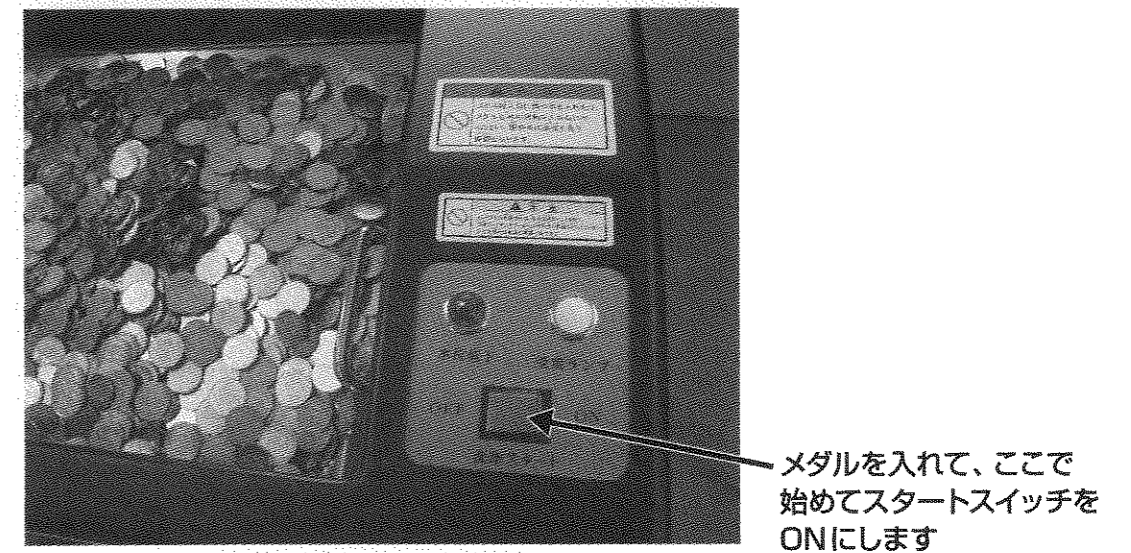
3・5 メダル洗浄

- ①温度計を45℃にセットします(必ず確認して下さい)
- ②メダルをホッパーに入れます
- ③このとき初めてスタートスイッチをONにします



重要

- ・水温が45℃になるまで(春夏で20分程度)動きません。
 - ・45℃になったら自動で洗浄開始します(スタートスイッチはON状態)
 - ・メダルがホッパーに無くなったら2分後に自動停止します
 - ・再度メダルを入れれば動き出します。(水温が45℃の場合)
- 自動スタート
自動停止



日々の運営の中でおこる振動や衝撃により、締結部が緩んだり、部品が摩耗・破損する場合があります。万一、そのような状態で運営を続けられますと、思わぬ事故の原因となります。営業開始前の点検及び試運転は必ず行い、本機が正常な状態であることを確認してください。また、必要に応じて整備を行い、お客様の安全をより確実にしてください。

重要

- 消耗品・補修部品(ネジ類含む)は、弊社指定以外の部品を使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 汚れを落とす際には、シンナー・ベンジン・アルコールなどの薬品や溶剤類、ならびに塩素系の洗剤類は使用しないでください。塗装が剥がれたり、プラスチック部分に変質したり、塩素によって筐体のステンレス部分が腐食する場合があります。
- 動き・音・振動・臭いなどに異常がないかを確認してください。また、少しでも異常に気がつきましたら、本機の運営を直ちに中止してください。
- 異常に気づいた場合は、「6.5 機械・部品修理依頼表」にて、お問い合わせください。

注意

- 本書に記載の始業点検ならびに定期点検を行ってください。事故防止のため必要です。
- 点検や清掃の際には、必ずスタートスイッチを「OFF」にしてから作業を行ってください。感電事故の原因となり大変危険です。
- 指定以外の場所には触らないでください。事故やケガの原因となります。

- 始業前には、外観や内側を柔らかい布でカラ拭きしてください。汚れがひどい場合には、水もしくは中性洗剤で濡らして堅く絞った布で拭き取ってください。
- 本機、またはこれらの付近に異物が置いていないかどうかを確認してください。異物があった場合は、速やかに取り除いてください。
- 始業前には、1~2回作動させて、故障や異常がないかを確認してください。
- 洗浄槽・すすぎ槽の水量を確認してください。水量が少ない場合は注水してください。

期間：水位低下ランプがついたら随時

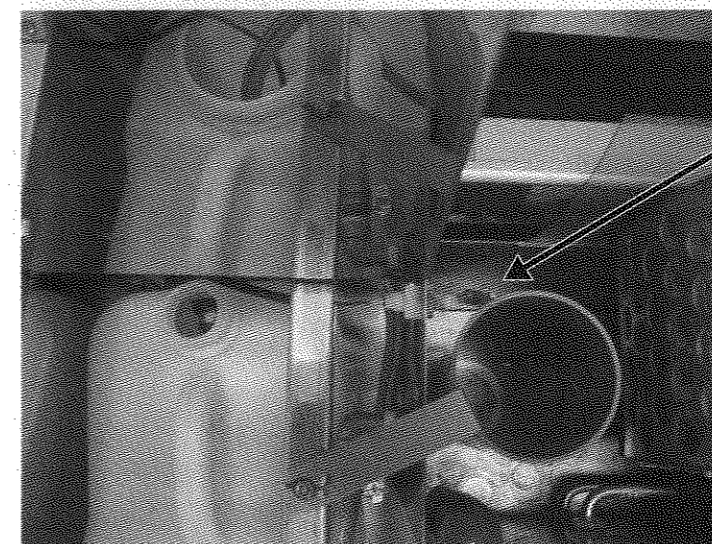
- ①「3・2 洗浄層の給水」の要領で水補給します(上限まで)
- ②洗浄液の注入の必要はありません



水位低下ランプ点灯したら水の補給を行ってください。

重要 故障では有りません

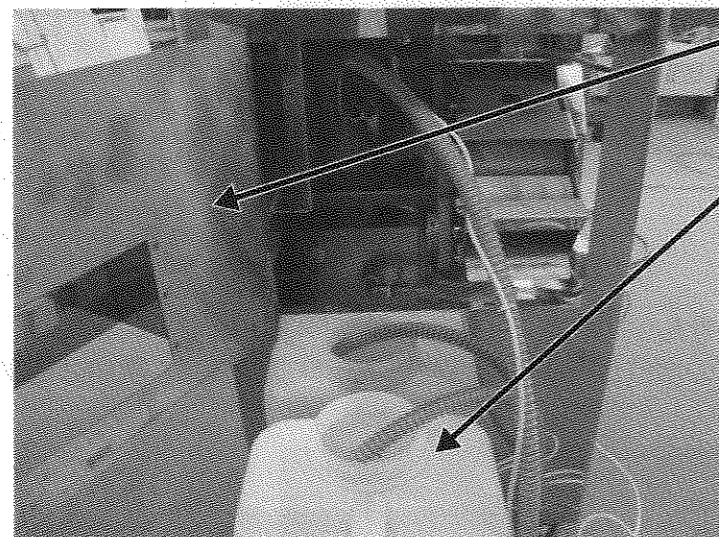
洗浄中、蒸発で洗浄槽の水位が下がると水位低下ランプがついて機械は止まります



洗浄槽に水が入っていても水位低下ランプがついたら、黒くなったフロートスイッチを清掃して下さい

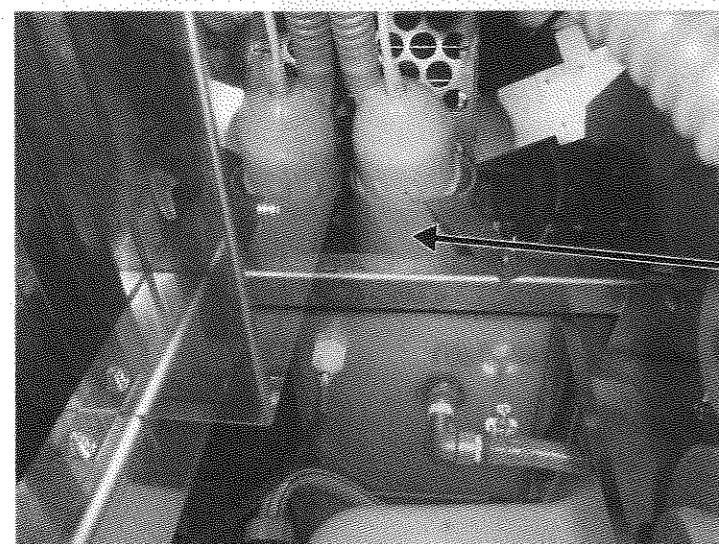
期間： 水交換は2日に1回交換、又は6～8万枚で交換

- ①給排水ポンプのポンプ側を洗浄槽排出ガイドに入れます
- ②給排水ポンプのスイッチをONにします
- ③大きい給排水用ポリタンク (20リットル) で受けます
- ④水は最後までしっかり抜きます
- ⑤ポリタンクの汚れた洗浄液を捨てます
- ⑥洗浄槽の給水は、「3・2 洗浄槽の給水」を参照に行ってください
- ⑦洗浄液の注入は、「3・3 洗浄液の注入」を参照に行ってください



左側板の小窓を開けます

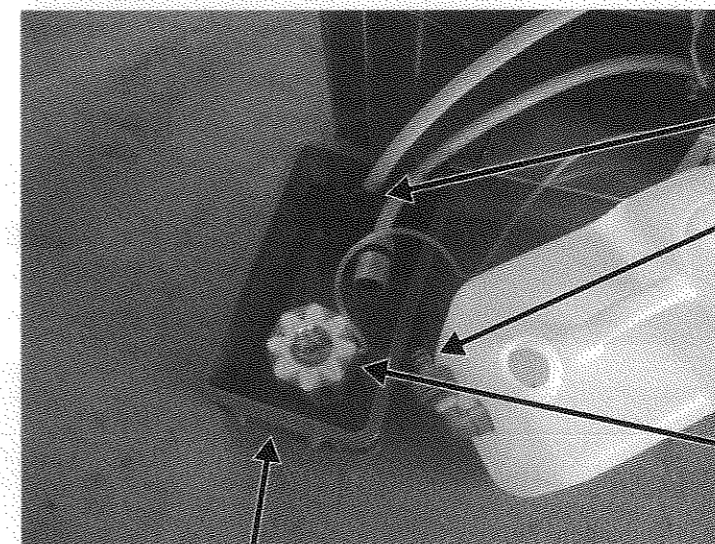
20リットル給排水用ポリタンクを用意します
ポリタンクへ汚れた洗浄液を移します



給水とは逆にポンプ側を
洗浄槽排出ガイドに入
てます

期間： 水交換は1日に1回交換、又は3～4万枚で交換

- ①すすぎ槽ポリタンクのステンレス蓋を取ります
- ②すすぎ槽ポリタンクを本体から引っ張り出す
- ③シャワーポンプとワンタッチカプラーを外す
- ④フィルターをすすぎ槽ポリタンクから取り出します
- ⑤上記を排出パンに入れます
- ⑥すすぎ槽ポリタンクの水を捨てます (この時、すすぎ槽の中のヌルヌルを洗う)
- ⑦すすぎ槽の給水は、「3・4 すすぎ槽の給水」を参照に行います



シャワーポンプ

ワンタッチカプラー

フィルター

排出パン

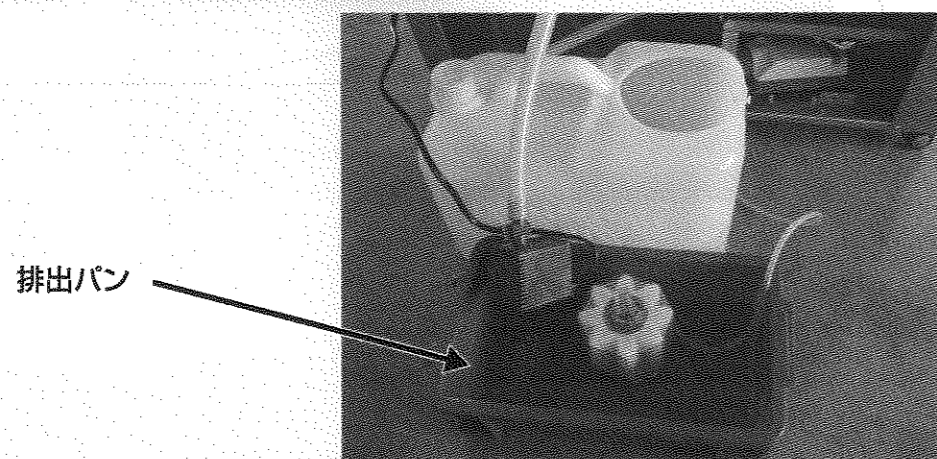
重要
排出パンに排出パンとワンタッチカプラーを入れないと残水がこぼれてしまいます

期間：・すすぎ槽の水の交換時にハウジングからフィルターを取り出し洗浄して下さい
・洗浄しても汚れが落ちなくなったらフィルターを交換してください
使用頻度によって違いますが交換は約2週間に一度程度です

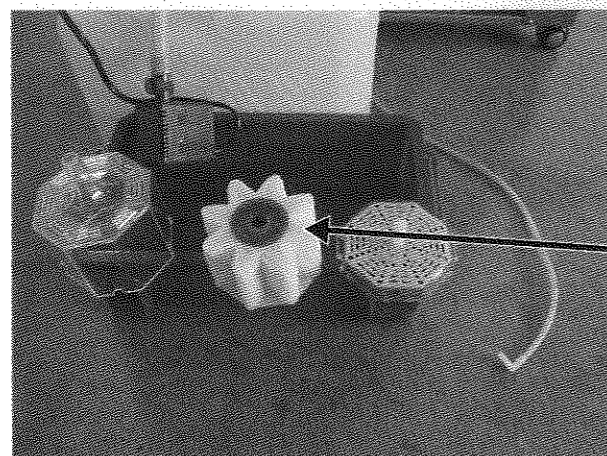
- ①すすぎ槽ポリタンクのステンレス蓋を取ります
- ②すすぎ槽ポリタンクを取り出します
- ③フィルターをすすぎ槽ポリタンクから取り出します
- ④下の写真のようにフィルターを分解します
- ⑤すすぎ槽の水交換のときに一緒にフィルターも洗浄してください
- ⑥洗浄しても汚れが落ちなくなったらフィルターを交換してください



ステンレス蓋



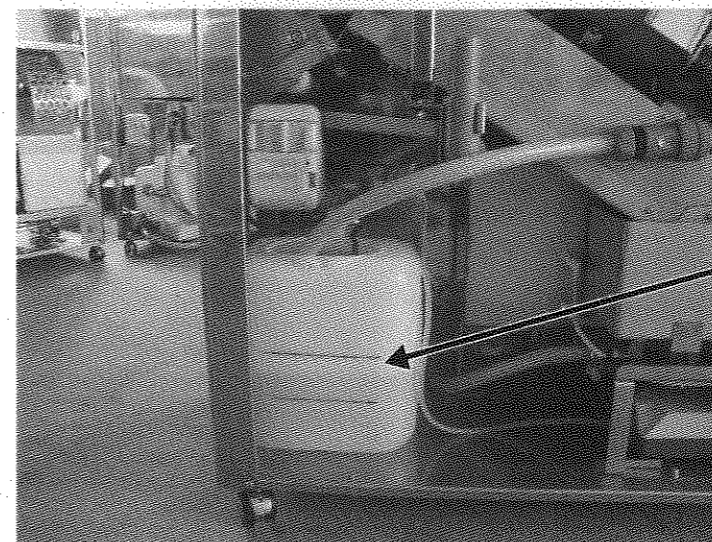
排出パン



洗浄するフィルター

期間：2週間が望ましいが最低でも1ヶ月に一度は必ず行ってください。

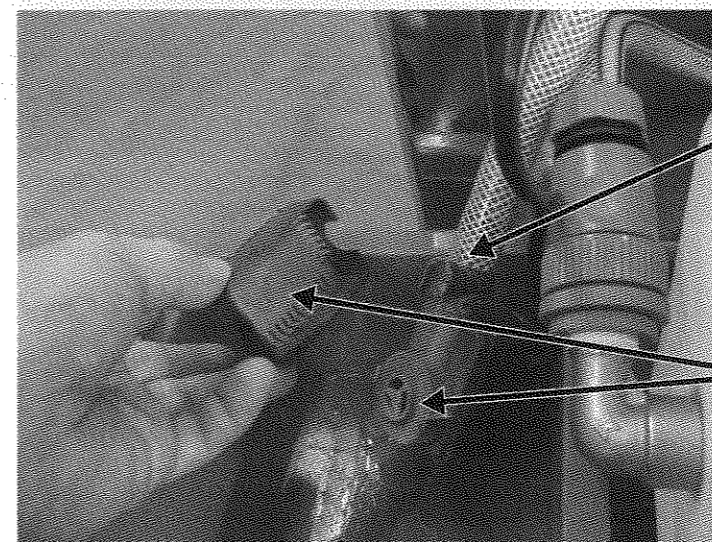
- ①すすぎ槽ポリタンクを本体から引っ張り出します
- ②すすぎ槽ポリタンクからシャワーポンプを取り出します
- ③シャワーポンプを2つに分け丁寧に洗ってください。(排出パンで洗う)



すすぎ槽ポリタンク

重要

- ・ポンプの水量調整はシャワーポンプのノズルで行います。
- ・ノズルはホースに対して水平の位置が最大になりその位置にします



このノズルの位置が水はMAXに出ます

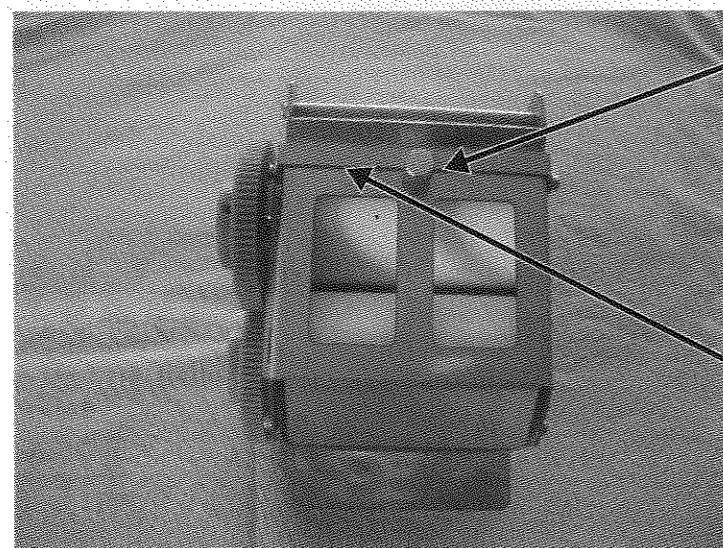
ここのごみ(髪の毛等)の清掃をします

期間：1週間から10日に洗浄、又は30万位程で洗浄

洗浄方法

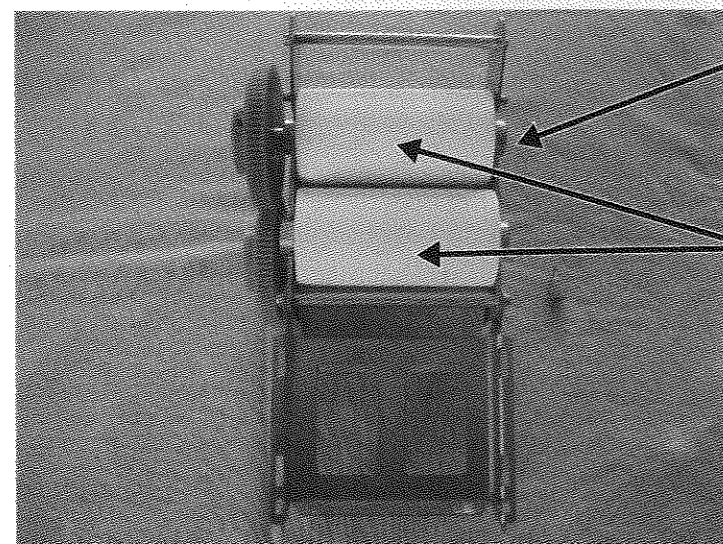
- ①脱水ローラユニットを本体から取り外します
- ②脱水ローラユニットを下記のように分解し4本のローラを取り出します
- ③取り出したローラのシャフトに付いている軸受けを外します
- ④バケツに水4リットル入れてMAXリキッド(洗浄液)80CCを入れます
- ⑤バケツの中で良く揉み洗いし、6～8時間浸け置きします
- ⑥浸け置き後、再度も揉み洗いします
- ⑦バケツに水道水を入れ良く濯ぎます
- ⑧水道水を流したまま濯ぎ洗いをします
- ⑨脱水ローラユニットを下記のように組み立てます
- ⑩脱水ローラユニットを本体に取り付けます

分解



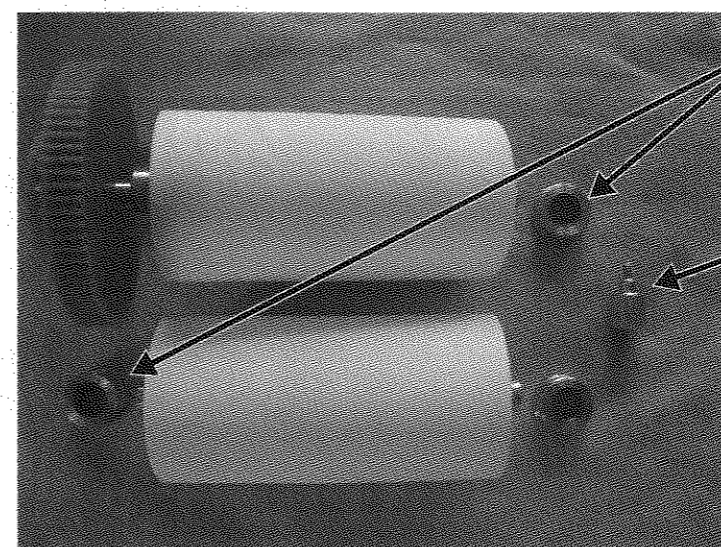
取付ネジを手で取ります
裏面も同用です

このツマミを手前に引きながら下記のように開きます

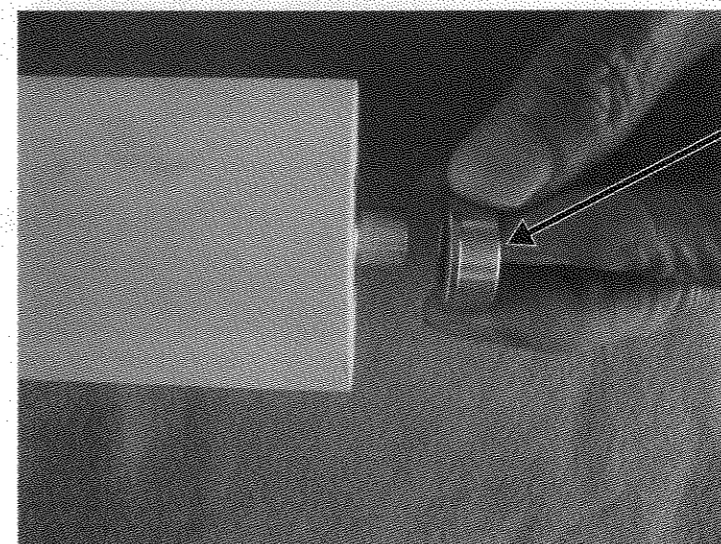


軸受

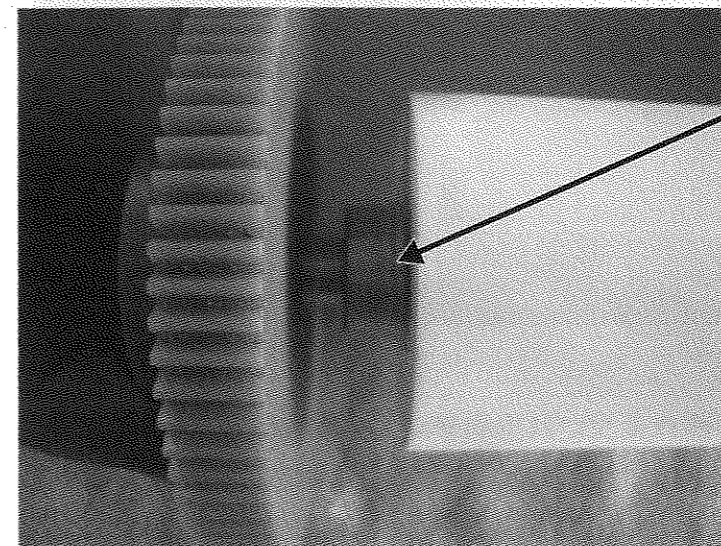
この2本のローラを上を持ち上げてはずします
ローラシャフトの軸受けも一緒にはずします



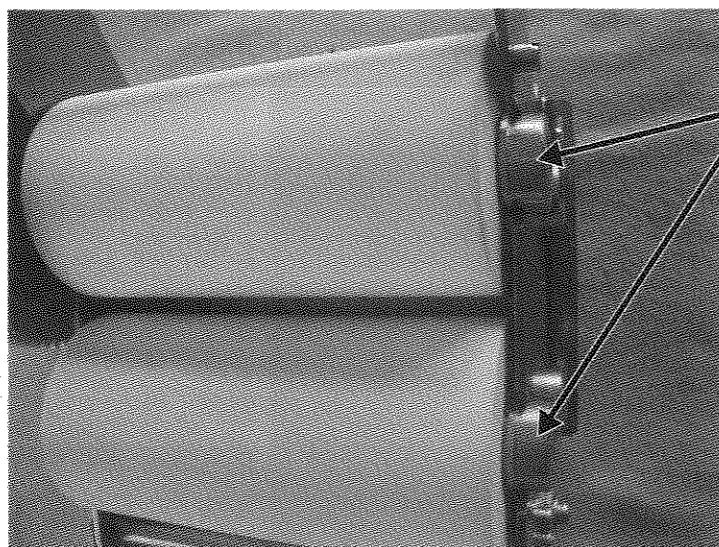
組立



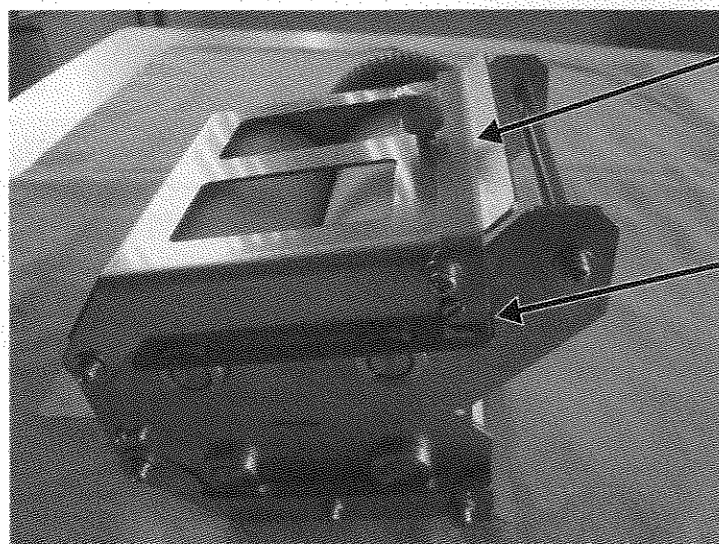
取付方向に注意して軸受をローラに取りつけます
反対側の軸受も同様です



ギヤ側の軸受はローラ側に寄せて取り付けます



ローラと側板の間に軸受径の大きい方を挟み込みます
反対側の軸受けも同様です



カッチと音がするまで蓋を押し込み最後にネジ止めをします

この部分で本体と蓋が固定されます

注意

- ・ 4本あるうちの1本でもローラの径が極端に細くなった場合は、4本ともローラを交換してください
- ・ メダル詰まりの原因となります

期間：2週間が望ましいが最低でも1ヶ月に一度は必ず行う

- ①組立・分解方法を参照に写真まで分解（左側板、右側板は外さなくても良い）
- ②洗浄槽（すすぎ槽）の水を完全に抜く（ドレインあり）
- ③洗浄槽（すすぎ槽）に落ちているメダルを取り、雑巾で洗浄槽内を綺麗にする
- ④組立・分解方法を参照に組み立てる

重要

左側板カバー、右側板カバーは外さないで洗浄します



すすぎ槽

洗浄槽



洗浄槽ドレイン

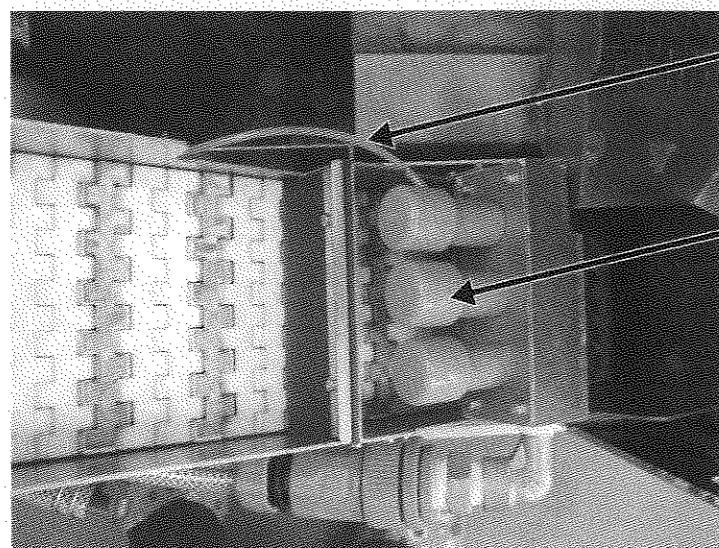
すすぎ槽ドレイン

ドレインの使用方法

- ・ 上記のように洗浄槽ドレインを排出パンに入れる（すすぎ槽ドレインも同様）
- ・ 20リットル給排水用ポリタンクに水を入れ、給排水ポンプを使い洗浄槽（すすぎ槽）に水を放水しドレインから排出パンに汚い水を流すとヘッドロが綺麗になります

期間：2週間が望ましいが最低でも1ヶ月に一度は必ず行います

- ① 排出コンベアからパイプを3本抜きます
- ② パイプの3穴の目詰まりを取り去ります
- ③ 透明のホースの目詰まりも取り去ります
- ④ パイプの排出コンベアへの挿入の長さは分解前に合わせます



透明ホース
このホースは必ず洗浄槽に入れます(水洩れの原因となります)

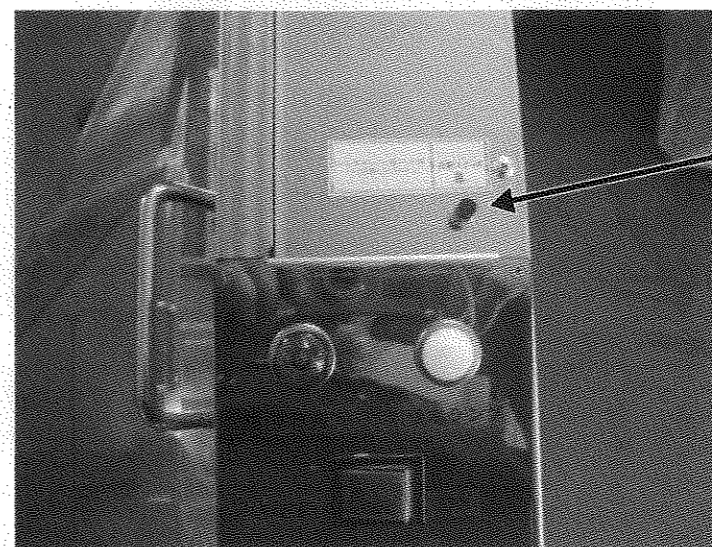
パイプは回しながら引き抜きます
パイプ穴は下向きです

透明ホース

予備の透明ホースを5本付属品としてお付けします

透明ホースはゴミで詰まります。詰まりましたら付属品のステンレス棒で取り除いてください

期間：ホッパー下方の払装置がメダルで引っかかり作動不良を起こした場合この反転スイッチを1回2～3秒、数回おして下さい。
メダルの引っかかりが修正され正常に作動し始めます



モーター反転スイッチ

交換、洗浄の目安の一覧

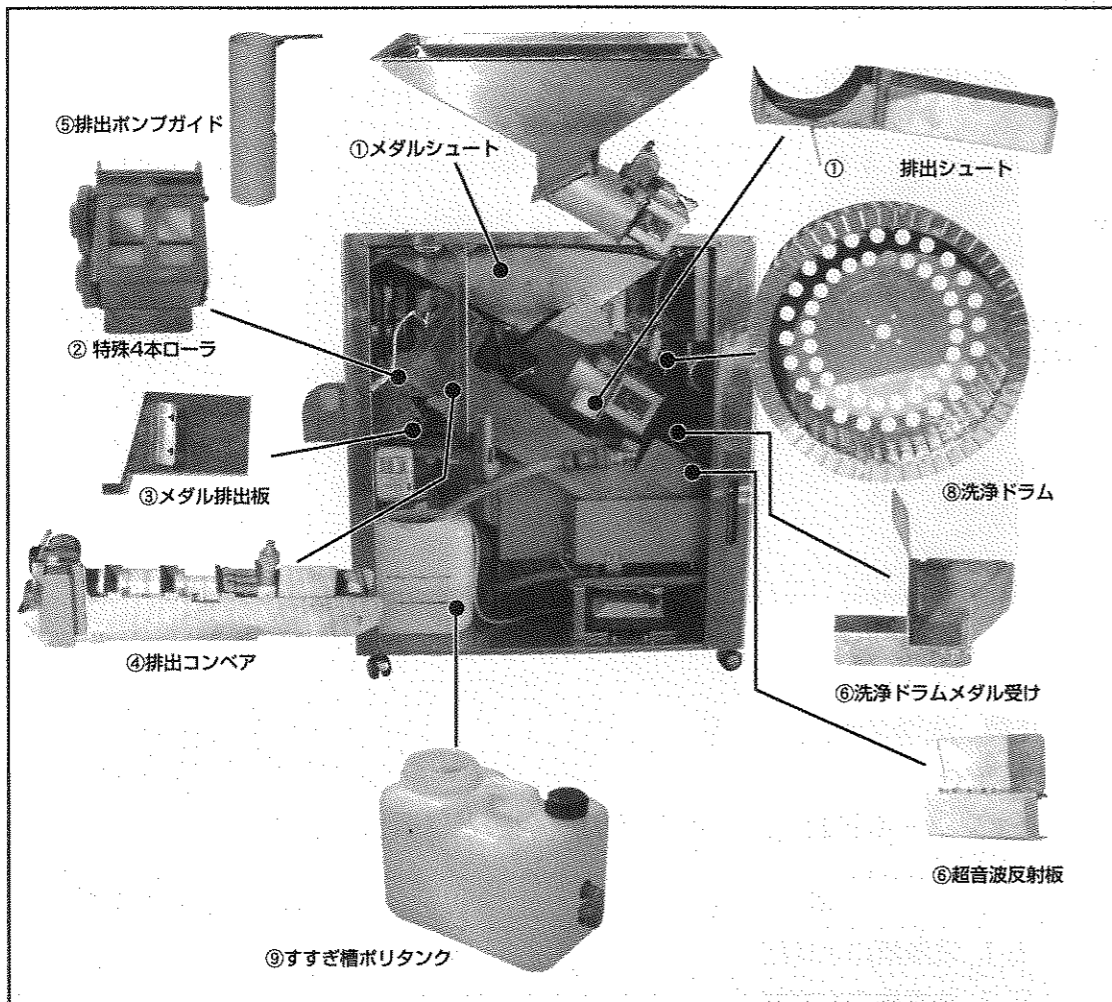
ファンフルード殿向けの目安です。(取説とは異なります)

項 目	交換、洗浄の目安
5-1 洗浄槽の水補給	水位低下ランプがついたら随時
5-2 洗浄槽の水交換	2日に1回交換、又は6～8万枚で交換
5-3 すすぎ槽の水交換	1日に1回交換、又は3～4万枚で交換
5-4 すすぎ槽フィルター交換	毎日洗浄、フィルターは2週間で交換
5-5 シャワーポンプの洗浄	2週間が望ましいが最低でも1ヶ月に一度
5-6 脱水ローラの洗浄	最低1週間に1回、又は20万位程度
5-7 洗浄槽の洗浄	2週間が望ましいが最低でも1ヶ月に一度
5-8 すすぎ槽の洗浄	2週間が望ましいが最低でも1ヶ月に一度
5-9 排出コンベア部 放水パイプの洗浄	2週間が望ましいが最低でも1ヶ月に一度

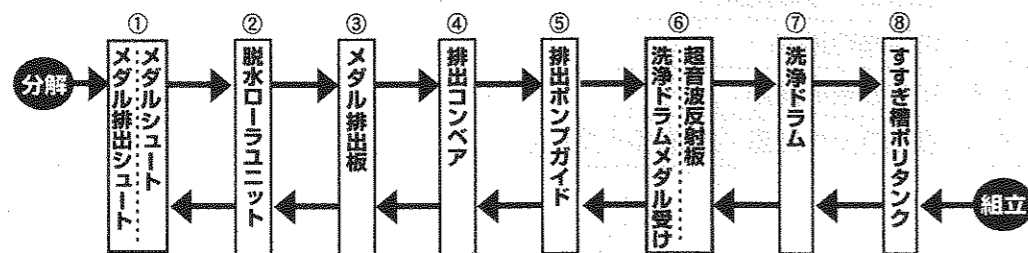
6 分解・組み立て

6・1 部品の手順

専用ドライバーとM5の六角レンチで簡単に分解、組み立てができるようになっています。快適にお使いいただくために、週に1度は分解して掃除をしてください。分解できる部品は、以下のとおりです。



分解・組み立ての手順は、次のとおりです。

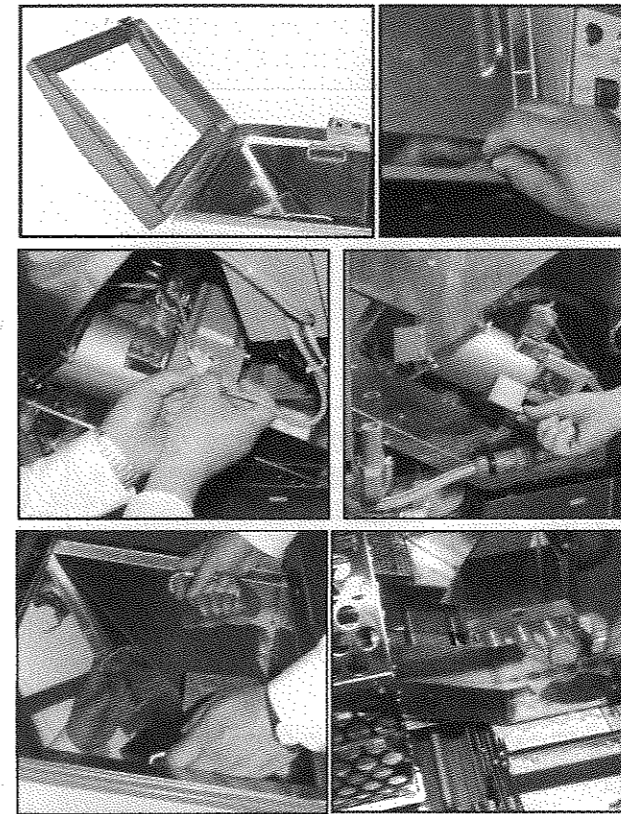


次ページ以下に分解の仕方を参照して正しく分解してください。尚、分解・組み立ては、安全のため、必ず2人以上で行ってください。(組み立ては、分解の逆の順に行ってください。)

※洗浄水循環フィルターユニットは、フィルターを交換する時に取り外してください。洗浄水循環フィルターユニットの取り外しは21ページ「5・4 洗浄槽フィルター交換」をご参照ください。

6 分解・組み立て

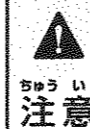
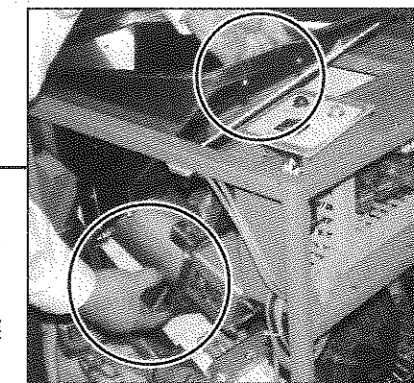
6・2 メダルシュートとメダル排出シュートの分解



①本機のトップカバーをあげ、メダルシュート上面の4箇所のチョウネジをはずします。

②コネクタをはずし、メダル排出シュートのネジをはずします。

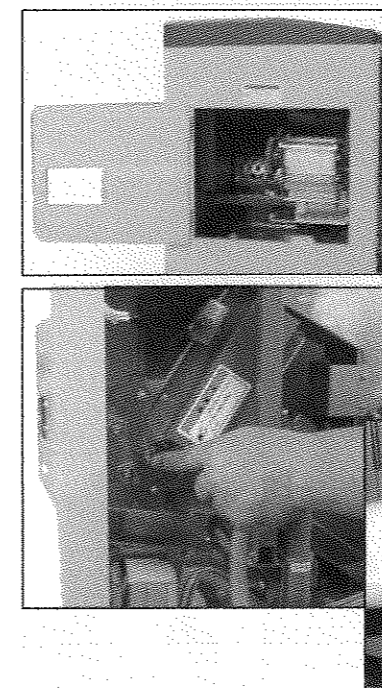
③メダルシュートの把手を両手で持ち上げはずします。この時、メダル排出シュートもはずれますので一緒に回収してください。



組み立てる時の注意点

メダル排出シュートのセット後、メダルシュートを乗せたら、本機向かって正面右側のメダルシュート把手を持ってやや持ち上げ、メダル排出シュートとメダルシュートがうまくかみ合うように装着してください。

6・3 脱水ローラの分解



①本機正面向かって左サイドのメンテナンスパネルを開けてください。

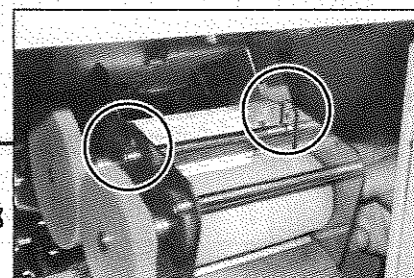
②本機向かって正面側にある、左の写真に示すネジをはずしてください。

③左サイドの窓から手を入れ、やや上に引き上げるようにして脱水ローラをとりはずします。

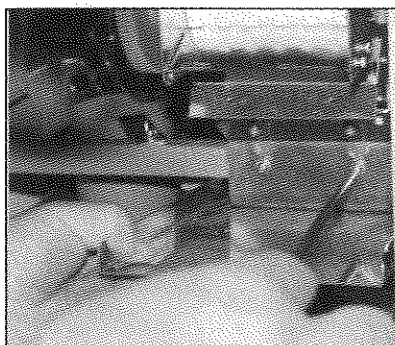


組み立てる時の注意点

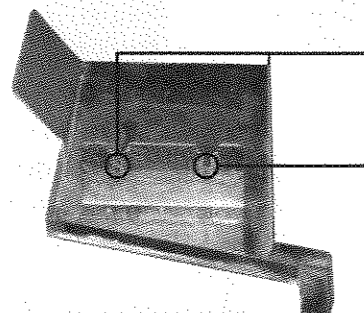
右写真に示すように、脱水ローラのバーが溝の部分にきちんとおさまるように装着してください。



6・4 メダル排出板の分解



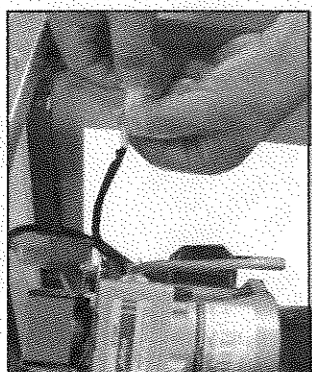
- ①メダル排出板を手で支えながらネジをゆるめます。この時ネジはゆるめるだけにしてください。完全に取り外す必要はありません。
- ②メダル排出板をはずします。



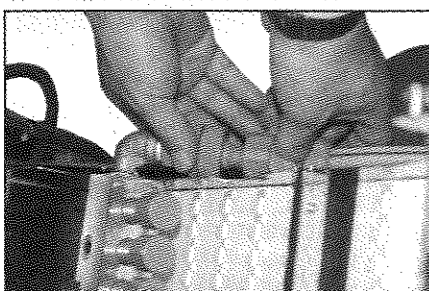
組み立てる時の注意点

ネジをしめる時は、メダル排出板を片手で上に持ち上げるようにし、左写真の○で示す狭い部分でネジをしめてください。

6・5 メダル排出コンベアの分解



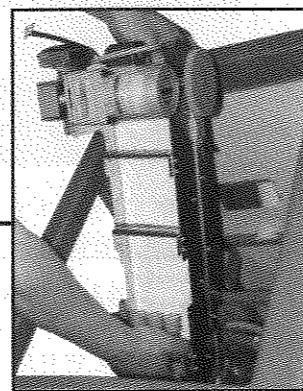
- ①本機と排出コンベアをつなぐコネクタをはずします。



- ②シャワーポンプ用ワンタッチカプラーをはずします。この時ポンプから水が漏れる場合がありますので、水が漏れないようご注意ください。



- ③メダル排出コンベアのモーター部分とシャワーポンプ側を両手で持ち、斜め上にずらすように引き上げてください。



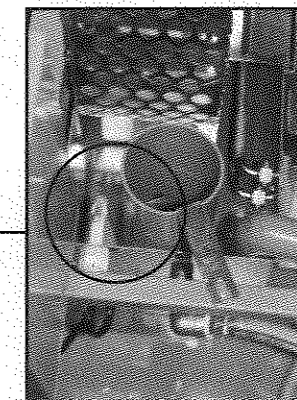
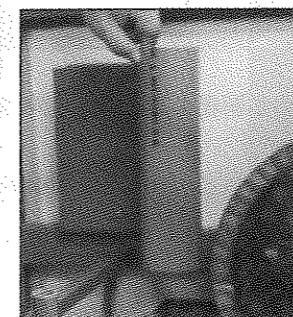
組み立てる時の注意点

メダル排出コンベアを装着する場合には、本機に対して真上から入れ、その後に斜にして取り付けるようにしてください。

6・6 排出パイプガイドの分解



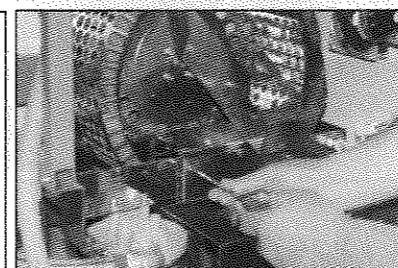
- ①左写真に示すネジをはずして排出パイプガイドを取り外してください。



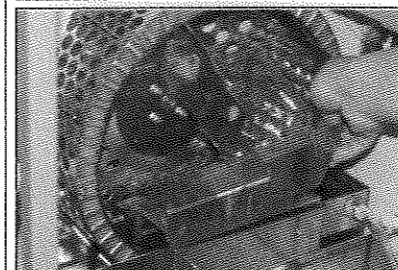
組み立てる時の注意点

排出パイプガイドを装着する時は、右写真のように斜めにセットします。また、この時、排出パイプガイドがフロートスイッチと接触しないようにしてください。

6・7 洗浄ドラムコイン受け・超音波反射板の分解



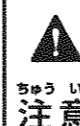
- ①左写真に示すネジをゆるめてください。この時ネジはゆるめるだけにしてください。完全に取り外す必要はありません。



- ②洗浄ドラム受けをはずしてください。

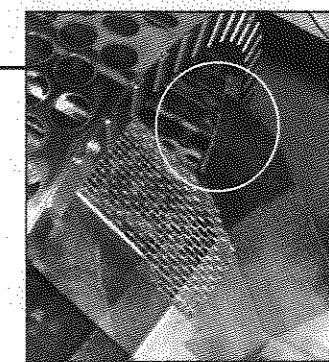


- ③引き続き、洗浄ドラム受けの下にある超音波反射板をはずしてください。



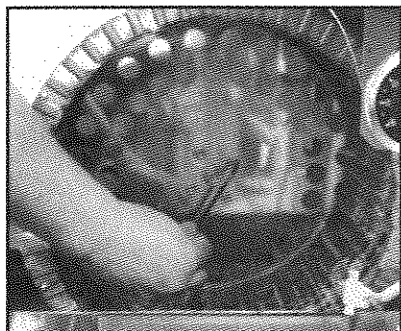
組み立てる時の注意点

- 洗浄ドラム受けを装着する場合には、洗浄ドラム受けのラバー部分が、右写真のように洗浄ドラムの内側にうまくおさまるようにセットしてください。
- 洗浄ドラム受けは、しっかり下まで入れ、斜にならないよう注意してください。
- 洗浄ドラム受けのアミの部分が、洗浄ドラムのネジに引っかからないようご注意ください。

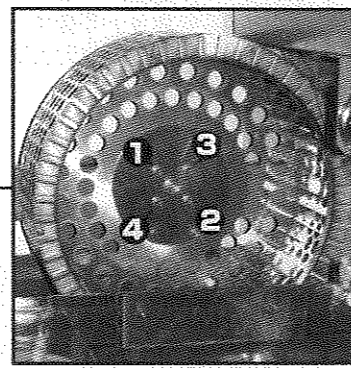
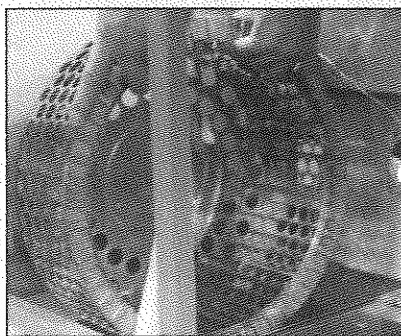


6 分解・組み立て

6・8 洗浄ドラムの分解



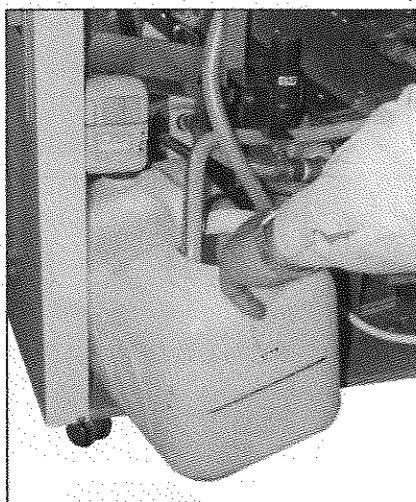
① M5の六角レンチを使用し、洗浄ドラムをささえている4本のネジをはずし、洗浄ドラムを取りはずしてください。



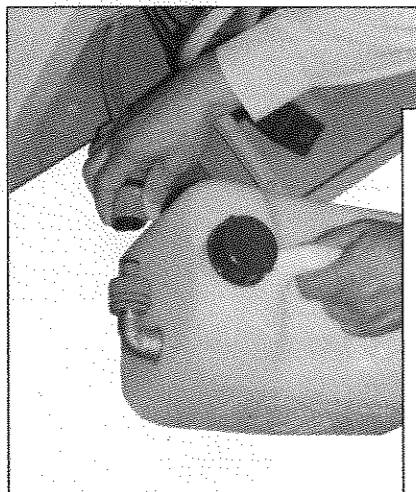
組み立てる時の注意点

洗浄ドラムを装着するためにネジを絞める時は、右写真のように①→②→③→④と向き合ったネジの順に絞めていくようにしてください。

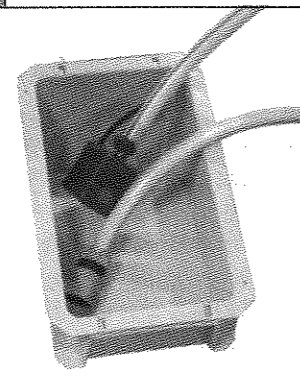
6・9 すすぎ槽ポリタンクの分解



① 本機からすすぎ槽ポリタンクを外へ出してください。



② すすぎ槽とすすぎ槽ポリタンクをつないでいるワンタッチカプラーをとりはずし、シャワーポンプとともに排出パンでうけてください。



● 水がこぼれ、床を濡らす原因となりますので、必ず排出パンでうけてください。

7 保守

7・1 修理のご案内

故障などが発生した場合には、下記の事項をご確認の上、次ページの「機械・部品修理依頼表」にご記入し、株式会社テクノプラテン本社工場までFAXにてお知らせください。

故障・修理などのお問い合わせの際に、ご確認いただくこと

- ◆ 製品名 (超音波メダル洗浄機 秀磨 (しゅうま))
- ◆ 製造番号 「※※※※」 (※は、お手持ちの機械の番号です)
- ◆ お買い上げ代理店名
- ◆ 故障状況 (できるだけ詳しくご記入してください)
- ◆ 現品送付先
- ◆ その他必要と思われたこと

修理費について

- ◆ 原則として、弊社代理店よりご請求させていただきます。
- ◆ 本機の保証期間は3ヶ月です (経過月数は、弊社出荷日より起算いたします)

部品先送りの注意事項

- ◆ 先送り部品とともに、現品添付表をお送りいたします。現品添付表にご担当者名をご記入後、故障した部品に添付して1ヶ月以内にご返品してください。
- ◆ 故障した部品が1ヶ月経っても弊社までご返品いただけなかった場合には、部品の売買契約が成立したものとし、請求書を送付させていただくこととなりますので、ご注意ください。
- ◆ 部品の種類によっては、先送りできないものもございます。あらかじめご了承ください。

連絡表No. _____

記入年月日 年 月 日

製品名	製造番号	製品設置年月日
超音波メダル洗浄機 秀磨(しゅうま)		年 月 日
会社名・担当所属部署	担当者名	住所・電話番号
		〒
		TEL.

不良状況(可能な範囲で具体的・詳しくご記入願います)	購入代理店名・営業所名

処理形態(対象の下記項目の「□」印の中に「✓」を記入してください)

- 1. 修理依頼 (部品 本体一式)
- 2. 部品供給依頼 (先出依頼 代品要求)

部品名: _____ 数量: _____

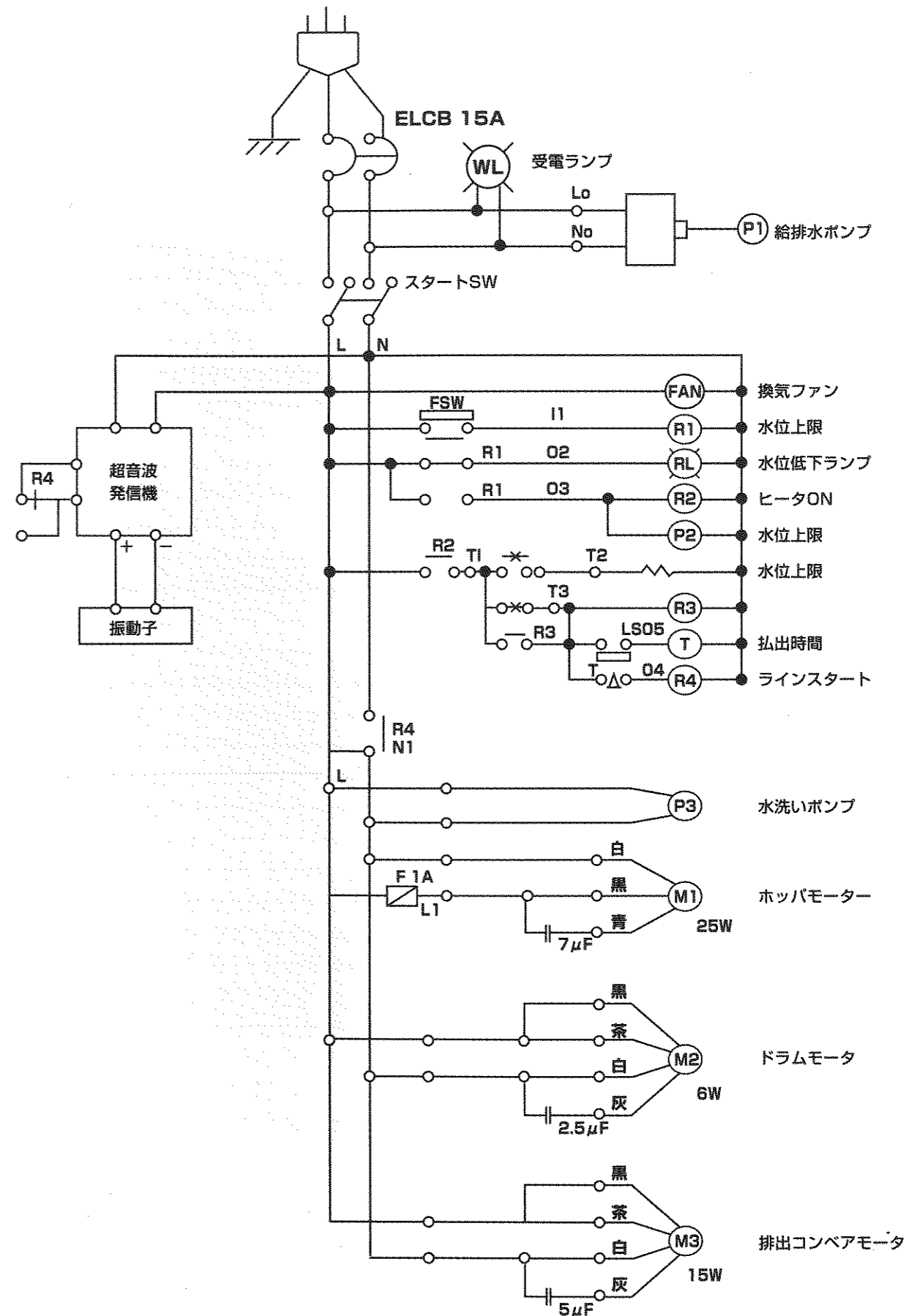
- 3. 保証期間内修理
- 4. 希望修理期限 _____ まで

注意事項

- イ. 保証期間内修理の場合、製造番号・製品設置年月日を必ずご記入願います。
- ロ. 本体一式の修理依頼の場合、弊社本社工場まで送付することになります。
なお、修理内容にて、特に要望事項がある場合、特記事項に記載願います。
- ハ. 修理品納期は、交換部品の入手状況により遅れる場合があります

メンテナンスサービスに関するお問い合わせ

〒224-0053
神奈川県横浜市都筑区池辺町 3591
株式会社テクノプラテン 本社工場
~~東大倉 大前町~~
TEL 045-932-0490 FAX 045-932-0497



×E

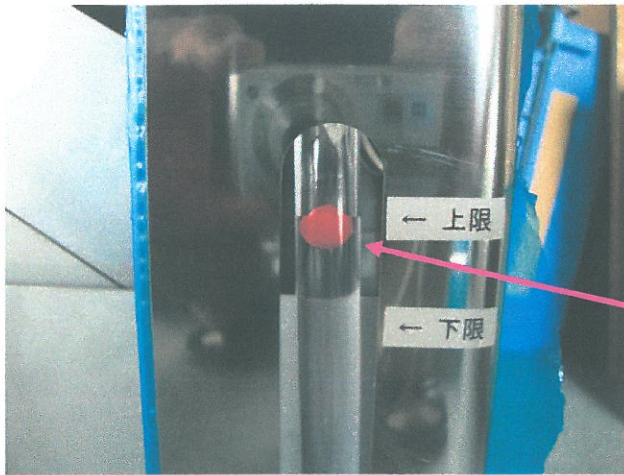
Lined writing area on page 41.

×E

Lined writing area on page 42.

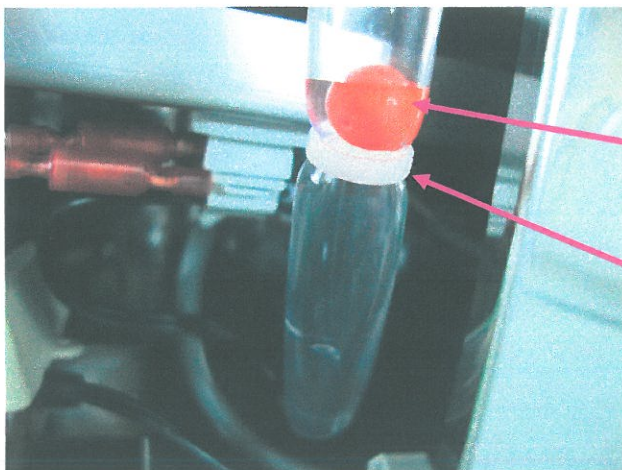
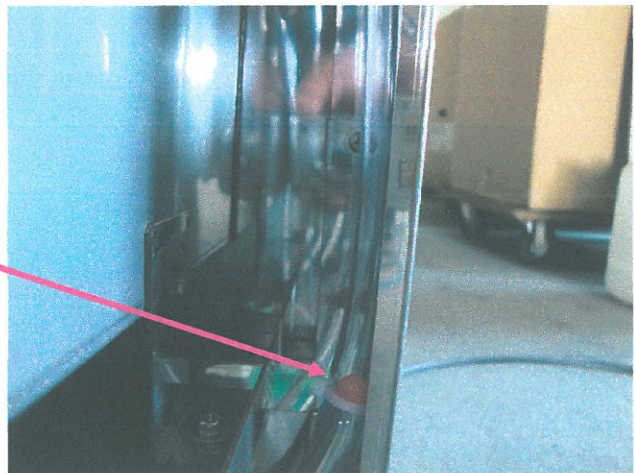
洗浄槽水位計浮き玉について

- ① 洗浄槽の水は、蒸発しますので必ず上限まで入れてください。
- ② 水位計ホースと洗浄槽ドレインが共通になっていますので、洗浄槽ドレインとして使用する場合、**浮き玉の紛失にご注意下さい。**(浮き玉の予備を1個ご用意しました)
- ③ 洗浄槽の水抜きを行った場合浮き玉が、浮き玉止めに引っかかり、再度洗浄槽の給水を行った時、**浮き玉が浮上しない場合があります。**
- ④ 浮き玉が浮上しない場合は、浮き玉を手で押し出し浮き玉を浮上させてください



上限まで水を入れてください

給水しても浮き玉が浮き上がらない場合



浮き玉を手で押し出し浮き玉を
浮かせてください

浮き玉止め